

或場合ニ於テハ貨物ノ包裝破裂シテ其中ノ貨物相互ニ混同シ何レノ貨物ハ甲者ニ屬シ又何レノ貨物ハ乙者ニ屬スルヤ之ヲ辨別スルコト能ハサルコトアリ例之ハ數人ノ真綿ヲ船積シタルニ其包裝破裂シテ其中ノ真綿相混淆シ甲乙ノ真綿ヲ識別スルコトヲ得サリシスベシ對ユニオン海上保險會社ノ事件ノ如シ此事件ニ於テ裁判官ハ判決ヲ下シテ曰ク貨物ノ包裝破裂シテ各貨物主ニ屬スル所ノ真綿ノ區分不明瞭ニ至ルモ其真綿ノ分量減少シタルニアラサレハ之ヲ以テ損失ノ生シタルモノト爲スヲ從テ各貨物主ハ船主ニ對シテ自己ノ所有スル真綿ノ分量ヲ請求スル權利ヲ有スルモ保險人ニ對シテ補償ヲ請求スルノ權利ナシト

(二) 保險人ハ其保險スル動物カ自然ノ原因ヨリ死亡スルモ之ヲ補償スルノ責任ナシ例之ハ牛馬カ海上ニ於テ疾病ノ爲メニ斃レタル場合ノ如キ假令ヒ其疾病ハ一分ハ船中ニ閉込メタルヨリ生シタルモノナルモ尙ホ保險人ハ之ヲ補償スルノ義務ナシ又往昔歐米諸邦ニ於テ奴隸ノ賣買ヲ以テ適法ノモノト爲シタルトキニ在テハ法律ハ奴隸ヲ人類ニ齒セス唯生命ヲ有スル財産ト見做シ牛馬ト同一視セ

リ故ニ奴隸カ亞非利加洲ヨリ歐米ニ向テ航海スルニ方リ着港ノ後ハ賣却セラル、カ又ハ苦役セラル、コトヲ悲歎シ遂ニ自殺シタル場合ニ於テハ法律ハ之ヲ以テ物品固有ノ性質ヨリ生スル所ノ損失ト見做シ保險人ハ之ヲ補償スルノ責任ナキモノトセリ

(三) 凡ソ保險人ノ負擔スヘキ損失ハ其担保シタル危險ヨリ直接ニ發生シタルモノニ限ルモノトス蓋原因ハ直接ニシテ間接ヲラサル可ラサルハ法律ノ一大原則ニシテ而シテ保險法ニ於テハ殊ニ之カ適用ノ必要ヲ見ルモノナリ「ロイド」ベイコン氏ハ此原則ノ理由ヲ説明シテ曰ク原因ノ原因ヲ考ヘ又其原因ヲ案ズルトキハ遂ニ其際涯ヲ見ルコト能ハサルヘシ故ニ法律ハ直接ナル原因ヲ以テ満足セサル可ラスト

今此原則ヲ熟案スルニ實際ノ適用上二個ノ作用アルヲ視ル則チ一ハ保險人ノ義務ヲ制限シ一ハ其責任ヲ擴張スルノ作用ヲ爲ス今假例ヲ舉ケテ之ヲ説明セハ難船ノ損所ヲ修覆スル爲メニ貨物ヲ賣却スルモ被保人ハ其賣却ヨリ生スル損失ニ付テハ保險人ニ對シテ補償ヲ請求スルノ權利ナシ是即チ保險人ノ義務ヲ制限スル

ノ一例ナリ又被保人ニ懈怠アリタルカ爲メニ海上ノ危険ニ遭遇シ船舶ノ損失シタル場合ニ於テハ保險人ハ其損失ヲ補償スルノ義務アリ是即チ保險人ノ責任ヲ擴ムルノ一例ナリ然レトモ此原則ヲ實際ニ適用スルニ當テハ極メテ困難ナル場合アリ其困難ナルハ英國ノ裁判官「ロード」デ「ンマン」氏ト米國ノ裁判官「ストリー」氏カ全ク同一ノ事實ニ就テ正反對ノ判決ヲ下シタルヲ觀テ知ルヘシ故ニ裁判官タルモノハ周到ノ注意ヲ用ヒテ訴件ノ諸般ノ情況ヲ查究シ以テ損失ノ原因ハ何レノ點ニ在ルヤヲ判決セサル可ラス

損失ノ直接ナル原因カ被保人又ハ其代人ノ懈怠又ハ過失ニアルトキハ保險人ハ之ヲ補償スルノ義務ナシ故ニ船長ノ過失ヨリ生スル損失ノ如キハ被保人ヨリ補償ヲ求ムルコトヲ得ヘキ限ニアラストス

(四) 船主又ハ船長カ運業者タル資格ヲ以テ防禦スヘキ原由又ハ通常ノ注意ヲ以テ防禦シ得ヘキ原因ヨリ發生シタル所ノ損失ニ付テハ保險人ハ之カ補償ノ責任ヲ負擔セサルモノトス故ニ荷造ノ不充分ナルカ爲メ貨物ニ損失ヲ生シタル場合ノ如キハ保險人ニ補償ノ責任ナシ又竊盜ハ通常保險證書ニ記載スル所ノ危険ノ

一ナルモ保險人ハ之ヨリ生スル損失ヲ負擔スルノ義務ナシ何トナレハ斯ノ如キ損害ハ船長ニ於テ通常ノ注意ヲ爲セハ防禦スルヲ得ルモノニシテ而シテ之ヲ防禦セサルノ責ハ船長又ハ船主ニ之レアルカ爲メナリ然レトモ強盜ヨリ發生スル損害ノ如キハ船長ノ通常ノ注意ヲ以テ之ヲ防禦スルヲ得サルモノナルカ故ニ保險人ハ之ヲ補償スルノ義務アルモノトス

(五) 政府ノ所爲ヨリ起リタル損失ニ付テハ之ヲ二ケノ場合ニ區別シテ講述セサルヲ得ス第一ノ場合ハ被保人ト保險人トカ同一國ノ人民ニシテ而シテ其政府ノ命令ニ依リテ損失ヲ來シタルトキ第二ノ場合ハ被保人ト保險人トカ其國ヲ異ニシテ被保人ノ政府カ命令ヲ發シタルニ依リ損失ヲ起シタルトキ即是ナリ第一ノ場合ニ於テ保險人カ其損失ヲ補償スヘキ義務アルコトハ既ニ一定スル所ナリ例之ハ内國ノ政府カ内國又ハ外國ニアル船舶ニ對シテ發シタル封鎖ノ命令ヨリ生スル所ノ損失ハ保險人ニ於テ之ヲ負擔セサル可ラス
第二ノ場合ニ於テハ開戦ノ時ト平和ノ時トニ依リテ其規則ヲ異ニセリ被保人ト保險人トノ本國間ニ開戦ノ布告アリタルトキハ假令保險契約ヲ取結フモ其契約

ハ不適法ニシテ何等ノ効力ヲモ有セサルコトハ既ニ講述スルカ如シ
 被保人ト保險人トノ國カ互ニ平和ナル時ニ於テハ之ヲ判決例ニ照スニ保險人ハ
 被保人ノ政府ノ命令ヨリ生シタル損失ヲ補償セサル可ラサルカ如シ「ロード」イレ
 ソボロー氏ハ被保人ト其政府トハ同一体ノモノナレハ政府ノ所爲ハ即チ被保人
 ノ所爲ト謂フコトヲ得可ケレハ保險人ハ之ヲ負擔スルノ義務ヲ負ハサル旨ノ判
 決ヲ下シタルコトアリ然レトモ斯ノ如シ被保人ト其政府トハ同一体ノモノトス
 ルハ未ダ正確ヲ得タルモノニアラサル可シ輒近ノ判決例ヲ閱スルニ實ニ之ト全
 ク相反セリ即チ其判決ノ趣旨ハ被保人ノ政府ノ所爲ヲ以テ被保人ノ所爲ト見做
 スヘキニアラサレハ保險人ハ當然其損失ヲ負擔セサル可ラスト云フニ在リ米國
 ノ判決例モ亦タ英國輒近ノ判決例ト其軌ヲ同フセリ

(六) 歐洲大陸ノ海上法ヲ案スルニ船舶カ危險ノ途ニ就キタル後其指定港ト通商
 スルコトヲ禁止セラレ又ハ其指定港ハ敵兵ノ割據スル所ト爲リ又ハ封鎖セラレタ
 ルカ爲ニ其航海ヲ放棄シタルトキハ通常保險證書ノ所謂帝王ノ禁制又ハ已チ得
 サル航海變更ノ字義中ニ入ルヲ以テ保險人ハ之ヨリ生スル損失ヲ補償スルノ義

務ヲ負フモノトセリ然レトモ英國ノ保險法ニ於テハ指定港ト通商スルヲ禁セラ
 レ又ハ封鎖差押若クハ捕獲ノ恐レアルカ爲メニ航海ヲ放棄スルカ如キハ通常保
 險證書ノ擔保スル所ノ危險ニアラス從テ保險人ハ之ヨリ生スル損失ヲ擔保スル
 ノ責ナシ何トナレハ被保人ニ於テ航海ヲ放棄スルカ爲メニ損失ノ生スルアルモ
 保險人ノ擔保シタル危險之カ直接ノ原因ヲ爲シタルニアラサレハナリ
 (七) 保險人ニ於テハ自ラ保險セサル物件ニ損失ヲ生スルモ何等ノ影響ヲモ受ケ
 サルモノトス例之ハ貨物ニ就テ保險契約ヲ締結シタル保險人ハ船賃ニ付キ何等
 ノ關係モアルコトナシ故ニ被保物カ多少ノ損害ヲ受ケテ到着シタル場合ニ於テ
 尙ホ損害ナクシテ到着シタルトキト同一ノ船賃ヲ拂フコトアルモ保險人ノ責任
 ハ之カ爲メニ毫モ伸縮スルモノニアラストス

第二章 保險證書ノ擔保スル損失

通常保險證書ノ擔保スル所ノ危險ハ(一)海難(二)火災(三)海賊強盜(四)差押并差止(五)捕
 獲(六)船長并ニ海員ノ兇行(七)其他總般ノ危險損失及災害ノ七項トス尙ホ各項ニ付
 キテ詳述スヘシ

第一 海難

保險證書ノ擔保スル危險中最モ重要ニシテ且最モ屢々發生スルモノハ蓋海難ニ過クルモノナシ海難ノ文字ハ海ノ原因ヨリ起生スル所ノ危險ヲ總稱スルノ名詞ナリ而シテ其尤モ重要ナルモノハ難破沈没坐膠及ヒ衝突ノ四者トス

(甲)沈没 船舶カ暴風激浪ノ爲メニ沈没シテ損失ヲ蒙ルハ實ニ海難ニ依リテ損失生スル所ノ最モ著明ナル一例ナリ故ニ此損失ハ素ヨリ保險人ニ於テ之ヲ補償スヘキモノトス然レトモ船舶ノ果シテ沈没ナルヤ否ヤ明カニ之ヲ知ル可ラサル場合アリ例ヘハ彼ノ敵傍艦ノ如キ果シテ沈没シタルヤ將タ渺茫タル大洋ノ一孤島ニ漂泊シタルヤ得テ之ヲ知ル可ラス然レトモ法律ハ斯ノ如キ場合ニ於テ沈没シタルモノト推測スルコトアリ即チ其沈没シタル事實ハ判明ナラサレトモ其出帆ノ日又ハ最後ニ之ヲ見タル時ヨリ相當日時内ニ於テ何等ノ音信ナキトキハ沈没シタルモノト推測スルモノトス彼ノ敵傍艦ハ新嘉坡ヨリ出帆シタルコトハ明カナレトモ相當ノ日限ヲ經過シテ何等ノ音信タモアラサルカ故ニ同艦ハ已ニ沈没シタルモノト推定セシカ如シ

沈没ト見做スヘキ期限ニ付テハ歐洲諸邦ハ航海ノ長短ニ依リテ之ヲ定メタリ佛國ノ商法ニ於テハ通常ノ航海ニ付テハ其期限ヲ一ケ年トシ又長キ航海ニ付テハ二ケ年ト規定シ而シテ時期保險證書ニ付テハ船舶ノ出帆シタル後チ其期限内ニ音信ナキ場合ニハ沈没ハ保險ノ期限内ニ起リタルモノト推測スヘキモノト規定セリ然レトモ英國ニ於テハ他ノ場合ト同シク一定ノ規則ナキヲ以テ各事件ノ各情況ニ依リテ之カ期限ヲ定ムルノ外ナシ而シテ此沈没ノ推測ヲ生セシムルニハ必ス船舶ハ確カニ保險シタル所ノ航路ニ向テ出帆シタルコトヲ證明セサル可ラス

(乙)難破 船舶ノ難破シタル場合ニ於テハ其ノ船舶ニ及ホス結果如何ニ從ヒ保險人ノ責任ニ異同アリトス

第一、船舶難破シテ之カ爲メニ片々ニ破壊シ船舶ノ形体ヲ失フトキハ即チ純然全損ノ場合ナレハ被保人ハ保險人ニ對シテ船舶委棄ノ通知ヲ爲サ、ルモ全損ノ賠償ヲ請求スルヲ得可シ而シテ其破船ハ保險人ノ所有ニ歸スルモノトス第二、船舶ニ大破損ヲ來シタルモ未ダ船体ヲ失ハス之ヲ修覆スルニハ修覆後ノ船價ヨリ多額ノ金圓ヲ要スルトキハ即チ法律上ニテ全損ト認ムヘキ場合ナレハ被保人ハ委

棄ノ通知ヲ爲セハ保險人ニ對シテ全損ノ補償ヲ請求スルヲ得而シテ委棄セラレタル船舶ハ保險人ノ有ニ歸スルモノトス第三船舶ニ破損ヲ來シタルトモ之ヲ修覆スル費用ハ修覆後ノ船價ヨリ少額ナルトキハ保險人ハ單ニ實際ノ損害ヲ辨償スルノミノ責任ヲ負フモノトス

(丙)坐膠 船舶ノ坐膠ヨリ生スル損失ハ固ヨリ海難ニ依リテ生シタルモノナレハ保險人ハ之カ補償ヲ爲スニキ責任ヲ負フモノトス然レトモ其損失ニシテ保險人ノ責任ヲ制限スル原則ノ範圍内ニアルトキハ保險人ハ固ヨリ之ヲ負擔スルニ及ハス例之ハ船舶カ通常ノ航路ニ於テ非常ノ危難ニ遭遇セスシテ坐膠シタルカ爲メニ發生シタル損失ハ自然ノ摩滅ニ屬スルヲ以テ保險人ハ之カ責任ヲ負ハス故ニ保險人ノ負擔スニキ坐膠ハ通常生ス可ラサル原由即非常ノ原由ヨリ生スルモノタルヲ要ス

(丁)衝突 衝突トハ船ト船トノ衝突スルヲ謂フ而シテ衝突ノ起リ得ニキ場合ハ之ヲ四個ニ區別スルコトヲ得ヘシ即第一双方ノ船舶ニ過失ナクシテ天災又ハ第三者ノ所爲ニ依リ生スル場合第二双方ノ過失ニ依リテ生スル場合第三損失ヲ蒙リ

タル船舶ノ過失ニ依リテ生スル場合第四損害ヲ與ヘタル船舶ノ過失ニ依リテ生スル場合はナリ第一ノ場合は於テハ各船ハ他船ヨリ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス第二ノ場合は於テハ損害ハ双方ニ於テ分擔スニキモノトス第三ノ場合は於テハ損失ヲ蒙リタルモノ自ラ其責ニ當ラサル可ラス又第四ノ場合は於テハ損害ヲ與ヘタルモノ之カ賠償ヲ爲サ、ル可ラス

佛國ノ學者イメリゴン氏ハ畧ホ前者ト同一ノ區別ニ依リテ保險人ノ責任ヲ論シタルコトアリ今其大要ヲ示シ兼テ英國法ト異同アル點ヲ列擧スヘシ

第一 衝突カ雙方ノ船舶ニ過失ナク只天災ノ爲メニ生シタルトキハ其損失ハ所謂海難ニ依テ起生シタルモノナルカ故ニ保險人ハ之ヲ補償スニキモノトス

此點ニ付テハ英國法モ亦同一ナリ

第二 衝突カ全ク他船ノ船長及水夫ノ過失ニ依リテ生シタルトキハ保險人ノ之カ損失ヲ負擔セサル可ラス
英國法モ亦同シ

第三 衝突ノ原因カ全ク被保船ノ船長並ニ水夫ニ歸スヘキ場合ニハ保險人

ニ於テ其損失ヲ負擔スルノ義務ナキモノトス

此點ニ付テハ英國裁判所ニ未ダ其判決例ナシ「ミストル」マリーシャル氏曰斯ノ如キ場合ニ於テ若シ船長及水夫ノ所爲カ所謂兇行ニ上リタルモノナルトキハ保險人ハ其損失ヲ負擔スルノ義務アリ若シ又其所爲兇行ニ上ラサルトキハ其過失極メテ大ナルトキニアラサレハ保險人ハ其責任ヲ免ル、コト能ハスト

第四

イメリゴン氏ハ過失カ果シテ孰レノ船舶ニアルヤヲ判定シ得サル場合ニシテ其損失ハ兩船平等ニ負擔スヘキモノナルトキハ被保人ニ於テ他船ニ仕拂フ丈ノ金額ハ保險人之ヲ負擔セサル可カラスト云ヘリ

ワラン及ボチエー兩氏モ右ノ場合ニ於テハ保險人ニ其責アリト云ヘリ然レトモ英國法ニ於テハ兩船カ損害ヲ平等ニ分擔スヘキトキハ保險人ハ被保船カ他船ニ仕拂タル所ノ金額ヲ辨償スルノ義務ナシ何トナレハ被保船ノ分擔シタル損失ハ決シテ海難ヨリ生シタルモノニアラスシテ法律ノ命

令ニ依リテ生シタルモノナレハナリ

第二 火災

電火又ハ捕獲ヲ防ク等ノ如キ正當ノ事情ニ依リ又ハ敵ノ爲メニ燒カレタルヨリ生スル損失ハ通常保險證書ノ擔保スル所ノモノナリ然レトモ火災ニシテ自然ノ發火即チ被保物固有ノ惡質ニ原由シ又ハ船積ノ當時既チ起リタル損害ヨリ生シタルモノナルトキハ之ヨリ生スル損失ハ保險人ノ補償スヘキモノニアラス然レトモ斯ノ如キ原由ヨリ起リタル火災ノ爲メ他ノ被保物ヲ延燒シタル場合ニ於テハ其保險人ハ之カ損失ヲ負擔セサルヘカラス

第三 捕獲

捕獲トハ敵カ戰時又ハ捕獲免狀ニ依リ財產所有者ノ所有權ヲ剝奪スルノ意思ニテ其財產ヲ掠奪スルヲ云フ公敵カ國際公法ニ於テ規定シタル法規ニ從ヒ之ヲ爲ストキハ正當ノ捕獲トシ若シ然ラサルトキハ之ヲ不法ノモノトス然レトモ其正當ナルト不法ナルトハ毫モ保險人ノ責任ニ何等ノ區別ヲ生セス即チ孰レノ場合ニ於テモ保險人ハ均シク之ヨリ生スル損害ヲ補償セサル可ラス

被保人カ捕獲セラレタル被保物ヲ取戻シタルトキハ之ヲ取戻ス爲メニ消費シタル諸費ノ辯償ヲ被保人ヨリ請求スルノ權利アリ而シテ捕獲ノ場合ニ於テハ被保人カ被保人ニ棄船ノ通知ヲ爲シ而シテ被保人之ヲ承諾スルトキハ被保人ハ其全損ノ賠償ヲ受クルノ權利アリ然レトモ被保人ニ於テ之ヲ承諾セサルトキハ被保人ニ於テ出訴前ニ船舶ノ返却ヲ受ケサルトキノミ其全損ノ賠償ヲ請求スルノ權利アリト雖モ若シ出訴前ニ於テ返却ヲ受クルトキハ單ニ現實ノ損害ノ賠償ヲ請求スルヲ得ルニ過キサルナリ

第四 差押差止封鎖

通常ノ保險證書ニ於テハ被保人ハ帝王又ハ人民ノ差押ヨリ生スル總般ノ損失ヲ負擔スヘキコトヲ記載スルモノナリ而シテ茲ニ所謂人民トハ一國ノ主權者ヲ稱スルノ語ナリトス故ニ通常ノ一私人カ差押ヲ爲スコトアルモ被保人ノ補償スヘキ危險ニハアラサルナリ

差押トハ船舶所屬國ノ政府又ハ其通好國ノ政府カ畢竟ハ其船舶ヲ所有主ニ返還スルカ若シハ其代價ヲ辯償スルノ意志ヲ以テ海上又ハ港内ニテ船舶又ハ貨物ヲ

差押フルヲ云フ然レトモ捕獲ハ之ニ反シテ戰時ノ掠奪物トシテ船舶及貨物ヲ取ルモノニシテ之ヲ自己ノ物品ト爲スノ目的ニ出ツルモノヲ云フ即チ差押ト捕獲トノ差異ハ實ニ此點ニアリ

往時ウエチミアノ政府ハセノアノ小麥船ヲ海上ニ於テ差押ヒコルフヒ人民ノ饑饉ヲ救助センカ爲メニ其小麥ヲ賣却シ代價ハ其所有主ニ支拂フタルコトアリ是即チ差押ノ例ニシテ捕獲ノ場合ニアラス何トナレハ其差押ノ目的ハ小麥ヲ買受クルカ爲メニシテ決シテ之ヲ掠奪物トスルカ爲メニアラサレハナリ

封鎖ハ帝王ノ差押ノ一種ニシテ最モ普通ノ場合ナリトス此封鎖ナルモノハ既ニ述ヘタルカ如ク政府ニ於テ命令ヲ發布シ其領地内ニアル總テノ港又ハ或港ヨリ船舶又ハ貨物ノ輸出入ヲ禁止スルヲ云フ

差押並ニ封鎖ハ其内國政府ノ命令ニ依ルト將タ又外國政府ノ所爲ニ基クトナ問ハス之ヨリ生シタル損失ハ總テ被保人ノ補償スヘキモノトス

第五 海賊並ニ強盜

海賊並ニ強盜ハ通常保險證書ニ明記スル所ノ危險ナリ而シテ茲ニ所謂海賊並ニ

強盜トハ海員以外即チ第三者ニ於テ盜奪セル場合ヲ云フモノニシテ海員ノ強盜
ヲナスカ如キハ本項ノ含蓄スル所ニアラサルナリ

(甲)海賊 海賊ノ所爲ヨリ直接ニ生スル損失ハ保險人ニ於テ之ヲ補償セサル
ヘカラス而シテ茲ニ所謂海賊ノ所爲トハ通常海賊ノ所爲ヲ指スノミナラス
シテ判決例ニ照セハ左ノ場合ノ如キモ亦海賊ノ所爲ト見做スヘキモノナリ
愛爾蘭ノ飢饉黨カ強テ小麥船ニ乗組ミ故ラニ之ヲ岩礁ニ乗揚ケシメ船長ヲ
シテ其小麥ヲ廉價ニ賣却スルノ外道ナキニ至ラシメタルカ如キハ即チ海賊
ノ所爲ナリトス又「クローリー」ノ移住者カ廣東ヨリカラテ迄ノ航海ニ於テ殘酷
ニモ水夫ノ一部ヲ殺傷シ殘員ニ對シテ脅迫ヲ加ヘ其船舶ヲ他ノ方向ニ導カ
シメタル如キモ亦海賊ノ所爲ナリトス

(乙)竊盜 通常ノ保險證書ニハ海賊強盜並ニ竊盜ヨリ生スル損失ヲ保險人ニ
於テ負擔スヘキノ文言アリ然レトモ爰ニ所謂竊盜トハ普通ノ意義ニ反對スル
モノニシテ暴行ヲ以テシタルモノ即チ強盜ヲ云フモノトス蓋單一ノ竊盜ハ
船長ニ於テ相當ノ注意ヲ廻ストキハ能ク之ヲ豫防シ得ルノミナラス所謂非

常ノ原由ニアラス故ニ之ヨリ生シタル損失ニ付テハ保險人ノ補償スヘキモ
ノニアラサルコトハ古來ヨリ確定シタル原則ナリトス

(丙)強盜 強盜ヨリ生スル所ノ損害ハ縱令船長ニ於テ相當ノ注意ヲ加フルモ
素ヨリ之ヲ豫防スルコトヲ得ス固ヨリ非常ノ原由ト稱スヘキモノナルヲ以
テ之ヨリ生シタル損害ハ勿論保險人ノ負擔スヘキモノトス

第六 船長及海員ノ兇行(Barratry)

船長ノ兇行トハ如何ナル所爲ヲ指スモノナルカチ案スルニ此點ニ付テハ久シク
異論紛々トシテ決セザリシ所ナリ往時ニ於テハ船長カ船主ヲ害シテ自ラ利スル
ノ意志ヲ以テ行フタル詐欺又ハ其他ノ不正ノ所爲ヲ指シテ船長ノ兇行ト認メタ
ルモノ、如シ然レトモ此定義ハ稍々狹隘ニ失スルノ非難アリテ其後ノ判決例ニ
依レハ少シク其意義ヲ擴充セリ即チ輓近ノ英國法律ニ依レハ兇行ナル語ハ唯
古昔ノ裁判官ノ思惟シタル所爲ヲ指スノミナラス縱令船主ヲ害スルノ意思又ハ
自己ヲ利スルノ意思ナキモ故ラニ不正ノ所爲ヲ行ヘ又ハ刑法ヲ以テ問ハルヘキ
懈怠アリテ之レカ爲メ船舶ノ所有主又ハ雇船者ニ實際ノ損害ヲ及ホス場合ヲモ

包含スルモノトセリ故ニ兇行ヲ組成セシニハ(第一)其所爲ハ船長又ハ海員カ其義務ヲ破リタルモノニシテ明カニ不正ノモノタルヲ要ス(第二)其所爲ハ船舶ノ所有主又ハ一時船舶ノ所有者ト認ムヘキ雇船者ニ對シテ損害ヲ及ホス所ノモノナラサル可ラズ今試ニ兇行ノ二三ノ例ヲ擧ケシニ船長カ故ヲニ封鎖ヲ破リテ出帆ヲ爲シ又ハ局外國ノ船長カ開戰國ノ搜索ヲ拒ミ或ハ船長カ故ヲニ不法ノ商業ヲ營ミ爲メニ船舶貨物ヲ官沒セラレタルトキ又ハ何等ノ必要ナキニモ拘ラス故ラニ船舶ヲ海岸ニ乗揚ケタル如キハ總テ船長ノ兇行ト認ムヘキモノナリ

右ニ述ヘタルカ如ク船長カ詐欺ノ手段ヲ以テ不正ノ所爲ヲナストキハ本項ノ所謂兇行ヲ組成スヘシト雖モ若シ詐欺ノ意思ヲ欠クトキハ犯罪ニ上ルカ如キ大ナル懈怠ニアラサレハ之ヲ以テ船長ノ兇行ト爲スコトヲ得ス船長カ其職ニ堪ヘサルカ又ハ委任狀ノ意義ヲ誤解シ或ハ委任權ヲ實行スルニ最良ノ方法ヲ取ラザリシカ如キハ決シテ兇行ト稱スルコトヲ得ス又船長ノ所爲タル兇行ニ上ルモ船主ニ於テ之ニ承諾ヲ表シタルトキハ亦之ヲ以テ兇行トナスコトヲ得サルナリ

海員ノ兇行トハ如何ナル所爲ヲ指スモノナルヤト云フニ此點ニ付テハ往時ヨリ

現今ニ至ルマテ其判決例極メテ僅少ナリトス然レトモ海員カ船舶又ハ貨物ニ損害ヲ及ホスヘキ犯罪若クハ詐欺ヲ行ヒ而シテ其所爲タルヤ暴虐ニシテ船主又ハ船長ノ注意監督又ハ威權ニ依テ之ヲ拒クヲ得サルモノハ海員ノ兇行ト稱スヘキヤ明瞭ニシテ聊カ疑ヲ容ルヘキニアラサルナリ故ニ若シ其所爲ニシテ船主又ハ船長カ通常ノ注意ヲ以テ防シコトヲ得ヘキモノナルトキハ之ヲ以テ海員ノ兇行ト云フヲ得サルヘシ例ヘハ海員カ共謀シテ又ハ水夫ノ一部カ船客ト共謀シテ船長及其他ノ水夫ヲ脅迫シ船舶ヲ海岸ニ乗揚ケシムルカ如キハ勿論海員ノ兇行ナリトス畢竟スルニ損失ノ原因ハ水夫ノ強大ノ暴力ニ基キタルモノニシテ船長又ハ船主ノ能ク拒クコトヲ得サルモノナルトキハ保險人ハ其損失ヲ補償セサル可ラス

第七 其他總テノ危險損失並ニ災害

以上列擧シタル危險ノ外尙ホ本項ノ如キ文字ヲ保險證書ニ記入スルヲ以テ通常トス而シテ此文字ハ以上列記シタルモノト同種ノ危險ヨリ生スル損害ノ他ノ場合ヲ指スモノナリ例ヘハ茲ニ一ノ船舶アリ被保險船ヲ敵船ト誤認シ之ニ發砲シテ

沈没セシメ又ハ之ニ放火シテ燒失セシメタルトキハ之ヨリ生シタル損失ハ上來列舉シタル危險ヨリ起リタルモノニアラサルモ茲ニ掲ケタル文字ノ意義中ニ包含セラレ、ナ以テ保險人ハ之ヲ負擔セサルヘカラス又敵ノ爲メニ金銭ヲ掠奪セラル、コトヲ避クル爲メニ敵カ船舶ヲ掠奪スルノ瞬間ニ於テ其金銭ヲ海中ニ投棄シタル場合ノ如キモ又本項ノ文字ニ依テ保險人ノ負擔ニ歸スヘキモノトス凡ソ通常保險證書ニ記入スル所ノ危險ハ以上八項ニ出テサルナリ今此章ノ講義ヲ終ルニ臨ミ一言以テ諸君ノ注意ヲ請フヘキノ點ハ保險人ノ負擔額ノ範圍ニ關スル事項ナリトス

保險人ハ其擔保シタル危險ヨリ直接ニ生シタル損害ヲ負擔セサルヘカラサルノミナラス其危險ノ生シタルカ爲メニ必要上例外ニ支辨セラレタル入費並ニ其國ノ法律又ハ一般ノ海上法ニ於テ其危險ヨリ直接ニ起リタルモノト認ムル支辨金ヲモ總テ之ヲ補償スヘキモノトス故ニ被保人カ救難者ニ報酬金ヲ與ヘタル場合又ハ捕獲セラレタル船舶ヲ受戻ス爲メニ金銭ヲ支辨シタル場合或ハ保險人ノ担保シタル危險ヨリ生スル損害ヲ修覆セシカ爲メニ多少ノ金銭ヲ支辨シタル場合

等ニ於テハ皆保險人ニ於テ此等ノ費用ヲ負擔セサルヘカラス然レトモ封鎖又ハ差押ノ間水夫ニ給與スル所ノ給料又ハ食料等ハ保險人ノ負擔スヘキモノニアラス何トナレハ封鎖又ハ差押ハ如何ニ久シク繼續スルモ最初ノ傭船契約ヲ消滅シ若クハ之ヲ中止スルモノニアラサルヲ以テ其間ノ水夫ノ給料又ハ食料等ハ傭船者ヨリ支辨スヘキモノニシテ即チ航海通常ノ費用ニ屬スレハナリ「ミストル」ベチツク氏ハ此原則ヲ説明シテ曰ク船主ハ傭船者ヨリ船賃ヲ収メ全航海中水夫ノ勞力ヲ貸附スルモノナリ而シテ商船法ノ規定ニ依リテ差押又ハ封鎖ノ間モ全航海中ノ一部ニ過キサレハ船主ハ斯ノ如キ費用ヲ保險人ヨリ請求スルコトヲ得スト」貨物ヲ保險シタル場合ニ於テモ尙ホ船舶ノ場合ニ於ケルカ如ク保險人ノ擔保シタル危險ヨリ生スル所ノ損失ヲ防遏シ若クハ之ヲ輕少ニセシカ爲メニ必要ナル費用ハ保險人ニ於テ之ヲ負擔スヘキモノトス例ヘハ水難ニ遇フタル穀類又ハ菓物ヲ乾ス爲メニ多少ノ金銭ヲ支出シタル場合ノ如キ是ナリ然レトモ船舶ヲ修覆スル入費ヲ支辨スル爲メニ貨物ヲ賣却シタルヨリ生スル所ノ損失ハ船主ノ負擔スヘキモノニシテ保險人ノ負擔スヘキモノニアラス

第二十一回

第三章 保險證書ノ取除キタル損失

海上保險ノ目的物ハ數百種ニシテ其物件ニ依リテハ縱令同一ノ危險ニ遭遇スルモ各自受ル所ノ損害ノ度ヲ異ニスルモノナリ例ヘハ同一ノ危險ニテ一物ニハ五割ノ損害ヲ生シ又他ノ一物ニハ僅カニ一割ノ損害ヲ生スルコトアリ又一ヶ月間航海ヲ遅延シタルモ毫モ損害ヲ受ケサル貨物アルト同時ニ又全ク腐敗シテ毫モ其用ヲ爲サ、ルモノアルヘシ又破損性ノ貨物ニ付テハ果シテ若干ノ損害ハ海上ノ危險ヨリ生シ果シテ若干ノ損害ハ其内部ノ性質ヨリ生シタルヤチ精密ニ區別スルコト極メテ困難ナル場合多シ是ニ於テカーハ此困難ヲ避ケ一ハ保險料ノ割合ヲ定ムルノ困難ヲ避クル爲メニ各國ノ保險人ハ殆ント皆保險證書中ニ一ノ約款ヲ記入スルヲ常トス而シテ此約款ニ於テハ最モ破損ノ性質ヲ有シ又其最モ屢輸出入ノ目的アル貨物ニ付テハ故ラニ其名目ヲ掲ケテ全損ノ場合ニアラサレハ其責任ヲ負ハサルコトヲ約定シ又其他ノ貨物ニ付テハ損失カ原價ノ幾割ニ當ラサレハ之ヲ負擔セサルコトヲ約定スルモノナリ斯ノ如キ約款ヲ保險證書

ニ附隨セシムルハ各商業國ニ行ハル、所ノモノニシテ英國ニ於テハ此約款ヲ普通ノ追加約(Common memorandum)ト稱シ之ニ記載シアル貨物ヲ追加約貨物(Memorandum articles)ト稱セリ而シテ其文例ニ至テハ各國異同アリ英國「ロイド」ノ保險人ニ於テ通常慣用スル追加約ノ文例ハ左ノ如シ

(一)穀物、魚類、鹽、菓物、粉類并種子ハ共同海損又ハ船舶坐膠ノ場合ニアラサレハ保險人ニ於テ其損害ヲ負擔セス

(二)砂糖、煙草、麻、苧、麥粉、及皮ハ百分ノ五以下ノ分損ニ付テハ保險人ニ於テ其責任ヲ負擔セス

(三)總テ其他ノ貨物及船舶船賃ハ共同海損又ハ船舶坐膠ノ場合ニアラサレハ百分ノ三以下ノ損失ニ付テハ保險人ハ其責任ヲ負擔セス

英國ノ判決例ヲ按スルニ茲ニ所謂穀物トハ豌豆蚕豆及モヤシチ合蓄スレトモ米ヲ包含セス是我邦人ニ奇怪ノ思ヲナサシムルノ點ナリ又鹽ト云フ文字ハ硝石ヲ包含セサルコトヲ裁判シタル判決例アリ而シテ又米國ノ判決例ニ依レハ右ニ所謂皮ノ中ニハ毛皮ハ包含セサルモノトセリ

右約款ノ條文ハ實ニ曖昧ニシテ古來議論紛々タリシ所ナリ然レトモ學者ノ說或ハ判決例ニ照シテ尙ホ其意義ヲ討尋スルトキハ其結果左ノ如シ

(一)共同海損ノ性質ヲ備フル總テノ損失ハ猶ホ保險證書ニ追加約ヲ附セサル時ト均シク保險人ニ於テ之ヲ負擔スヘキモノトス

(二)保險人ハ船舶坐膠ノ場合ニアラサレハ單獨海損若クハ明記シアル割合以下ノ損失ニ付テハ責任ヲ負擔セズ

(三)若シ船舶カ追加約貨物ヲ積載シ乍ラ坐膠ヲナシタルトキハ保險人ハ其坐膠ヨリ生シタルモノト否トヲ問ハス猶追加約ヲ爲サ、ルトキノ如ク總テ其損失ヲ負擔スヘキモノトス

茲ニ熟考ヲ要スヘキ問題ハ損失カ坐膠ヨリ生シタルモノニアラサルモ既ニ坐膠ヲ爲シタル事實アレハ保險人ニ於テハ他ノ危險ノ損失ヲモ負擔スルノ義務アリヤ否ヤノ問題はナリ然ルニ此點ハバルネツト對ケンシンゴトノ訴訟事件ノ判決ニ依リテ保險人ニ責任ヲ負擔セシムヘキコト、ナレリ今該事件ノ事實ヲ畧叙セシニ原告ハ普通ノ追加約ヲ附シテ果物ニ付キ保險契約ヲ締結シ航海ヲ始メシ

ニ船舶礁石ニ觸レ海水其船舶ニ漏レ入りタルヲ以テ船長ハ海岸ニ乗上ケタル上精密ニ其船舶ヲ検査セリ然ルニ船舶ハ乗上坐膠ノ爲メ何等ノ損害ヲモ受クル所ナク唯漏水ノ爲メニ貨物ニ損害ヲ及ホシタルノミナリシカ裁判所ハ保險人ニ於テ貨物上ノ損失ヲ負擔スルノ義務アリト判決セリ

次ニ熟考ヲ要スヘキハ追加約ニ所謂船舶ノ坐膠トハ如何ナルコトヲ云フモノナルカノ問題はナリ抑モ坐膠トハ船舶カ岩礁海岸其他何等ノ物タルヲ問ハス之ニ附着シテ動かサルトキヲ云フモノニシテ縱令妨碍物ニ觸ル、モ暫クモ附着セサレハ之ヲ坐膠ト云フヲ得ス又其果シテ坐膠ナルヤ否ヲ定ムルニハ此他非常ニシテ且不慮ノ災難ノ爲メニ附着シタルヤ否ヲ審定スルヲ要ス船舶カ通常ノ航路ニ於テ退潮ノ爲メ海底ニ膠着スルカ如キハ決シテ坐膠ト云フ可ラス然レトモ非常ナルトキ又ハ非常ナル所ニ於テ不慮ノ事變ノ爲メ海底ニ沈着スルカ如キハ勿論坐膠ト稱スヘキナリ裁判長ナンダ氏ノ言ヲ以テ之ヲ説明スレハ船舶ノ附着タルヤ通常ノ航路ニ必ス免ルヘカラサルモノナルトキハ之ヲ稱シテ坐膠ト云フコトヲ得ス唯非常若クハ不慮ノ原因ヨリ固着シタルトキハ始メテ之ヲ坐膠ト稱ス

ルコトヲ得ヘシ

追加約ノ本性如何ハ既ニ前回ノ講義ニ於テ講述シタリ次ニ此約束ニ關シテ尙ホ研究ヲ要スヘキ二個ノ問題ハ(第一)如何ナル方法ヲ以テ追加約ニ定ムル所ノ損失ノ割合ヲ充スヘキ乎(第二)何ニ基テ其割合ヲ定ムヘキ乎ノ二點是ナリ

第一 如何ニシテ約定ノ割合ヲ充スヘキヤ

第一則此問題ニ關シ第一ニ生スル問題ハ時ヲ異ニシテ生シタル損失ヲ合算シテ約定ノ割合ニ及フトキハ之レヲ保險人ニ負擔セシムルヲ得ヘキ乎ノ疑問ナリトス

船賃並ニ貨物ノ保險ニ付テハ航海中ニ生シタル損失ハ縱令時ヲ異ニシテ生スルモ皆之ヲ合算スヘキモノトス何トナレハ貨物上ノ眞損失ハ航海ノ終ニアラサレハ其類ヲ計算スルヲ得サルヲ以テナリ

第二則共同並ニ單獨ノ海損ハ之ヲ合算シテ始メテ約定ノ割合ヲ超過スルモノナルトキハ保險人ヲシテ責任ヲ負擔セシムル爲メニ之ヲ合算スルヲ得ス

第三則貨物又ハ船賃ノ損失ヲ救護スル爲メノ費用例ハ難破港ニ於ケル庫敷料

又ハ貨物ヲ船舶ニ再載スル費用ノ如キハ約定ノ割合ヲ充サンカ爲メニ之ヲ計算スルコトヲ得ス蓋是等ノ費用ハ唯財産ヲ保護運輸スル爲メノモノニシテ不慮ノ事柄ヨリ生スル損失ノ性質ヲ備ヘサルモノナレハ追加約ノ所謂損失ニアラサルヲ以テ保險人ノ負擔スヘキモノニアラサルナリ

第四則損失ノ金額ヲ計算スル費用ハ追加約定ノ割合ヲ充ス爲メニ損失トシテ合算スルヲ得ス然レトモ損失ノ金額ノミニシテ既ニ其約定ノ割合ニ充ルトキハ之ヲ計算スル所ノ費用ヲモ合算シテ之ヲ保險人ニ負擔セシムルヲ得若之ニ反シ損失ノ金額ノミニテハ約定ノ割合ニ充タサルトキハ之ヲ計算スル所ノ費用ハ被保人ノ負擔スヘキモノトス何トナレハ若シ費用ヲ要セスシテ損失ノ金額ヲ定ムルコトヲ得ルモノトスルトキハ其損害ハ勿論被保人ノ負擔ニ歸スヘキモノナレハナリ

第二 何ニ基テ此割合ヲ定ムヘキ乎

第一則損失ノ割合ハ損失ノ起リタル當時現ニ船中ニ存在スル所ノ貨物ノ多寡ニ準據シテ之ヲ定ムヘキモノトス此規則ハロール對ベルノ判決例ニ依テ一定シタ

ルモノナリ此事件ニ於テ保險人ハ航海中奴隸ノ一揆騒動ヨリ生スル損失カ其百分ノ五以上ニ及フトキハ之ヲ負擔スヘキ旨ノ契約ヲ締結セリ然ルニ奴隸カ一揆騒動ヲ起シタルトキハ其數僅カニ四十九人ニシテ其内七人ハ之ヲ鎮壓スル爲メニ殺戮セラレタリ此場合ニ於テ追加約ノ所謂百分ノ五以上トハ現ニ其騒動ノ起リタルトキノ數ニ對スルモノナルカ或ハ航海ヲ終リタルトキノ員數ニ對スルモノナルカノ疑問起リシカ裁判所ハ其損失ハ一揆騒動ノ起リタル當時ニ於ケル奴隸ノ百分ノ五以上ナルヲ以テ保險人ハ之ヲ補償スヘキモノト判決セリ

第二則追加約文例第二項ノ如ク割合ノ約定カ數多ノ貨物一般ニ關スルトキハ各損害ノ割合ハ各貨物ニ準據シテ計算スヘキモノトス

第三則追加約文例第三項ニ於テハ特ニ指示シタル以外ノ貨物ハ其他總テノ貨物トアル文字中ニ包含シテ特ニ其種類ヲ擧ケサルヲ以テ右第二則ヲ適用スルコトヲ得ス即此場合ニ於テハ別段指名セサル貨物ト共ニ一体ノモノト見做シ約定ノ割合ハ全体ノ貨物ニ準據シテ之カ計算ヲ爲サ、ルヘカラス

第四則同種類ノ貨物ハ特ニ指名セラレタルト否トナ間ハ各別ニ荷造ヲ爲シ船

積シタル場合ニ於テモ其約定ノ割合ハ尙ホ同種類ノ貨物全体ニ準據シテ之ヲ計算セサル可ラス

第五則以上ニ述ヘタル規則ニテハ、被保人ニ不利益ノ場合アルヲ以テ被保人ハ此不利益ヲ避ケンカ爲メニ特ニ各捆ニ付キ約定ヲ爲スコトアリ此場合ニ於テハ被保人ハ第二則ニ依リテ其割合ヲ定ムルモ又ハ第三則ニ照シテ之ヲ定ムルモノニ其撰擇スル儘ナリトス何トナレハ此特約ハ被保人ノ利益ノ爲メニ締結セラレタルモノナレハ其利益ニ解釋スヘキヲ以テナリ

第四章 海損

海損ニ二種アリ共同海損及單獨海損是ナリ先ツ共同海損ヨリ講述セン

第一節 共同海損

凡ソ船舶カ海上ノ危險ニ遭遇シテ其全部ノ損害ヲ免レンカ爲メニハ其一部ノ利益ヲ犠牲ニ供セサルヘカラサル場合アリ其一部ノ利益ヲ捨テ、殘部ノ損害ヲ免レタルトキハ其利益ヲ受ケタル者ハ其損失ヲ受ケタル者ト共ニ其損失ヲ分擔セサルヘカラス如斯損失ヲ稱シテ共同海損ト云フ今一例ヲ擧ケテ説明センニ船舶

共同海損

海損

海上ニ於テ暴風激浪ノ爲メニ將サニ覆没セントスルニ當リ其積載シタル貨物ノ一部ヲ投棄スルニアラサレハ到底其船舶全体ノ安全ヲ維持スルコト能ハサルノ慘狀ニ遇フタルヲ以テ己ムヲ得ス其積載スル所ノ荷物ノ一部分ヲ海中ニ投棄シテ以テ他ノ荷物並ニ船舶ノ安全ヲ得タルトキハ其安全ヲ得タル貨物並ニ船舶ノ持主ハ獨リ其利益ヲ壟斷シ損害ヲ受ケタルモノハ獨リ之ヲ負擔スルノ理由ナカ
ルヘシ宜シク投棄セラレタル貨物ト安全ニ保存セラレタル貨物トヲ計算シテ其利益ヲ受ケタル者ハ損失ヲ受ケタル者ト同等ノ位地ニ立チ共ニ損失ヲ負擔セサル可ラス

共同海損ハ左ノ五條件ヲ具備セサル可ラス即チ

第一 共同海損ハ危險ヲ避クルカ爲メニ故ラニ行フタル所爲ヨリ生セサル可ラス辞ヲ換テ之ヘハ人ノ故ラニ行フタル所爲ヨリ生シタルモノナラサル可ラス
例令ハ暴風頓カニ起リテ波濤大ニ激動シ船舶應サニ覆没セントスルニ當リテ船長ハ其積載スル貨物ノ一部分ヲ海中ニ投棄シ又ハ櫓ヲ折り帆ヲ棄テ、漸ク殘部ノ損失ヲ免ル、コトヲ得タルトキハ其船長ノ所爲ヨリ生スル所ノ損失ハ即チ共

海損ナリトス若シ夫レ貨物ノ一部分ヲ打破シ若クハ櫓ヲ折り帆ヲ棄テタルハ人爲ニ依ラスシテ天爲ニ出テタルトキハ之ヲ稱シテ共同海損ト云フヘカラス

第二 船主及船長ノ義務上當然爲スヘキ所爲ヨリ生スル損失ハ共同海損ト見做スヘカラス辞ヲ換テ之ヲ云ヘハ共同海損ノ所爲ハ船主及船長カ通常ノ義務以外ニ於テ爲シタル所爲ナラサルヘカラス

凡ソ船主及船長カ運送者トシテ應ニ盡スヘキノ義務ハ之ヲ屈指スルニ違アラズ而シテ此義務ヲ盡シタルカ爲メニ損失ヲ蒙ルコトアルモ之ヲ以テ共同海損ト見做スヘカラス從テ其損失ニ對スル責任ハ船主又ハ船長ニ於テ之ヲ負擔スヘキモノトス例ヘハ船舶カ航海スルニ當リ敵ノ爲メニ追撃セラレタルヲ以テ其敵ヲ退ケンカ爲メニ船体船具若クハ水夫ニ損害ヲ來シタリ然レトモ其損失ヲ以テ共同海損ト云フヘキニアラス何トナレハ敵ノ掠奪ヲ防クカ爲メニ之ト抵抗スルハ船主若クハ船長ノ義務トシテ應サニ爲スヘキコトナレハ其義務ヲ盡スカ爲メニ損失ヲ生スルモ共同冒險人ハ之ヲ負擔スルノ理由ナケレハナリ

第三 共同冒險物ノ全損ヲ救フカ爲メニ行フ所ノ所爲ヨリ生スルモノナラサル

可ラス

茲ニ所謂共同冒險物トハ船舶之ニ積載スル貨物及船賃ヲ云フ此三者即チ同一ノ危険ヲ冒スモノ、一般利益ノ爲メニ行フタル所爲ニアラサレハ共同海損ノ所爲ト見做スヘカラス故ニ唯貨物ヲ救護センカ爲メニ一ノ櫓ヲ折ルカ如キハ共同海損ヲ成サ、ルモノトス

ネズビツト對ルシングトノ訴件ニ於テ穀物其他ノ貨物ヲ積載シタル船舶カ愛爾蘭ノ近海ヲ航行スルノ際同國ノ饑饉黨ハ其穀物ヲ掠奪センカ爲メニ之ヲ差押タリ而シテ其差押ヲ免レテ安全ニ航海ヲ終了センニハ船長ハ廉價ヲ以テ其穀物ヲ賣却セサルヘカラサルニ至レリ此場合ニ於テ其掠奪ノ危険ハ單ニ穀物ニ對スルノミニシテ冒險物一般ニ及ハサルモノナリ故ニ其穀物ヲ廉價ニ賣却シタルヨリ生スル損失ハ決シテ共同海損ノ性質ニアラスト判決セラレタリ又一例チ擧グニバツター對ウエルドマンノ訴件ニ於テ船長カ公敵ノ爲メニ船舶ヲ奪ハル、ニ當リ若干貨幣ヲモ奪ハル、コトヲ恐レテ之ヲ海中ニ投棄セリ此場合ニ於テ船長カ貨幣ヲ海中ニ投棄シタルハ其公敵ノ爲メニ奪ハレンコトヲ恐レテ爲シタルモノ

ニシテ敢テ共同冒險物一般ノ利益ノ爲メニ爲シタルモノニ非サレハ之ヲ以テ共同海損ノ所爲トナスコトヲ得ス然レトモ共同海損ノ所爲ヲ組成スルニハ其所爲ノ爲メニ共同ノ利益ヲ來シタルコトヲ必要トセス辭ヲ換テ之ヲ云ヘハ成效ヲ以テ此所爲ノ必要條件ト爲スニアラス唯共同冒險物ニ利益ヲ與フルノ目的ヲ以テ其所爲ヲ行フタルトキハ即チ共同海損ノ所爲トナルモノトス

第四 全部ノ損失ヲ救フニハ此所爲ヲ行フヨリ他ニ方法ナキヲ要ス

全部ノ損失ヲ救フニハ其冒險物ノ一部ヲ投棄セサルモ尙ホ他ニ救護ノ方法アルトキハ之ヲ以テ共同海損ノ所爲トナスヘカラサルナリ

第五 貨物ヲ犧牲ニ供スルトキハ其貨物ハ積載スヘキ正當ナル部分ニ船積シタルモノナラサルヘカラス

假之ハ甲板上ニ積載シアル貨物ヲ投棄スルモ其損失ノ共同海損ニアラサルコトハ普通ノ規則ナリトス何トナレハ甲板上ニ貨物ヲ積載スルハ船舶ノ運轉ヲ妨害スルモノナルヲ以テ不當ノ所爲タルヲ免レサレハナリ然レトモ此規則ハ左ニ掲グル二個ノ例外アリトス

第一、甲板上ニ貨物ヲ積載スル習慣アルトキ
 第二、甲板上ニ貨物ヲ積載スル特約アルトキ
 以上二個ノ場合ニ於テハ、縦令甲板上ニ積載シタル貨物ト雖モ之レヲ海中ニ投棄シタルトキハ共同海損ヲ成スモノトス
 抑モ保險人ハ通常保險證書ニテハ人爲カ直接ノ原因トナリテ損害ヲ生シタルトキハ船長並ニ海員ノ兇行ノ外ハ通常其責任ヲ負担セサルモノトス今共同海損ノ場合ニ於テハ常ニ船長及船主ノ所爲カ直接ノ原因トナリテ損失ヲ生スルモノナリ故ニ此場合ニ在テハ保險人ハ之ヲ負担スルノ義務アリヤ否ヤノ問題ハ古來碩學鴻儒及ヒ有名ナル裁判官ノ間ニ一大疑惑ヲ抱カシメタルモノナリ然レトモ現今ニ於テハ先ツ保險人ハ其責任ヲ負担スヘキコトニ一定セリ今其理由ヲ尋ルニ共同海損ノ場合ニ於テハ損失ハ人爲ニ原由スルニハ相違ナキモ素其所爲タル或ル海上ノ危険ノ爲メニ全損ヲ來スノ恐レアルヲ以テ之ヲ防遏センカ爲メ其一部分ノ利益ヲ拋棄スルモノナレハ其所爲タル毫モ不正ノ廉ナキノミナラス何人ニテモ其位置ニ立ツモノハ此所爲ヲ爲スハ必然ノコトナルカ故ニ共同海損ノ所爲

ハ人爲ニ歸スルヨリハ寧ロ海上ノ危険ニ歸スヘキモノナルヲ以テ之ヨリ生スル損失ハ當然保險人ニ於テ之ヲ負擔セサルヘカラスナルナリ
 荷送狀ノ附隨セサル貨物ハ佛國法律ニ依レハ縦令一般ノ利益ノ爲メニ海中ニ投棄セラレタル場合ニ於テモ尙ホ共同海損ヲ成サ、ルモノトス今其理由ヲ按スルニ同國法律ニ於テハ荷送狀ノ附隨セサル貨物ハ船主ノ詐欺ニ依リテ積載シタルモノト見做スヲ以テ正當ナル冒險物ノ一部分ヲ爲サストノ理由ニ依ルモノナリ然レトモ英國ニ於テハ斯ノ如キ規則アルコトナシ故ニ其貨物ヲ積載シタルハ詐欺ニ出テタル乎將タ否ヲサル乎ヲ區別シ其詐欺ノ廉ナキ場合ニ於テハ其損失ヲ以テ共同海損ト見做スモノトス
 共同海損トハ此ノ如キモノナレハ則チ船舶ノ沈没若シハ坐膠ヲ救ハンカ爲メニ其船内貨物ノ一部分ヲ端舟ニ積込ミ以テ之ヲ海岸ニ輸送スル途中ニ於テ損害ヲ受ケタルトキハ此損害ハ即チ共同海損ナリトス然レトモ端舟ヲ以テ貨物ヲ輸送スルニ當リテ本船及其本船ニ殘存スル所ノ貨物上ニ損失ノ發生スルコトアルモ之ヲ以テ共同海損ト見做スヘカラス何トナレハ端舟ニ在ル貨物ノ安全ニ海岸ニ

到着スルヲ得タルハ敢テ本船又ハ本船ニ殘存スル所ノ貨物カ損失ニ歸シタルカ故ニアラサレハナリ

船舶カ捕獲沈没若クハ難破ヲ避クルカ爲メ故テニ岩礁又ハ海岸ニ乗上ケタル場合ニ於テ不幸ニモ其船舶ヲ損シ唯貨物ノミカ安全ニ救上ケラレタルトキハ其貨物ハ其船舶ノ損失ヲ共擔スヘキモノナルヤ否ハ異説紛々未タ一定セサル所ノ問題ナリトス羅馬法ニテハ其損失ハ貨物ノ共担スルニ及ハサルモノトス米國ニ於テハ其判決例區々ニシテ久シク一定セサリシカ判事ストリー氏ノ判決ニ依テ稍々確定シタル規則ヲ生シタルモノ、如シ即チ其判決ニ依レハ一般ノ利益ノ爲メ故テニ船舶ノ乗揚ヲナシ而シテ損失ヲ來シタルモノナルヲ以テ其救上ケラレタル貨物ハ損害ヲ共擔セサルヘカラサルモノトセリ英國ニ於テハ未タ斯ノ如キ判決例ヲ見ス然レトモアルノルド氏ノ如キハストリー氏ト同説ヲ主張セリ

共同冒險物一般ノ利益ノ爲メニ費シタル費用モ亦タ共同海損ヲ組成スルモノトス而シテ此費用ノ共同海損タルヤ否ヤヲ定ムルニハ左ノ問題ヲ決定スルヲ要ス

第一 費用ハ非常ノ性質ヲ備ヘタルヤ否

四

三三

第二 費用ハ共同冒險物全体ヲ安全ニスル爲メ費シタルモノナルヤ否

以上二個ノ問題ニ對シ然リト答フルヲ得ル所ノ費用ハ常ニ共同海損ニシテ否ト答フルヲ得ル所ノ費用ハ單獨海損トス例ヘハ暴風ノ爲メニ船舶ノ帆檣并ニ綱具ヲ截斷セラレタルヲ以テ船舶及貨物ノ安全ヲ保護スル爲メニ之ヲ修覆スルトキハ其修覆ノ費用ハ即チ共同海損トナスヘキモノナリ然レトモ船舶修覆ノ爲メ湊港ニ碇泊中ノ時日間水夫ニ仕拂フ所ノ食料并ニ給金ハ共同海損ヲ成サス左レトモ歐洲大陸及米國ノ法律ハ是等ノ費用ヲ以テ共同海損ト見做セリ

次ニ損失ヲ共擔スヘキ物品ニ付概述センニ前段講明シタル如ク共同海損トハ共同冒險物ヲ救フ爲メ一部ヲ損シ又ハ金員ヲ費ヤス場合ヲ云フモノナレハ此損失ハ共同冒險物全体ニテ之ヲ負擔セサルヘカラス故ニ現ニ海中ニ投棄セラレタル貨物ト雖トモ尙ホ其損失ノ一部ヲ負擔スヘキモノトス例ヘハ甲者ハ五十圓ノ貨物ヲ積載シ乙者モ亦タ五十圓ノ貨物ヲ積載シ而シテ船舶ハ五百圓ノ價額アリトセンニ若シ海上暴風激浪ニ遭ヒ船舶カ將サニ覆没セントスルニ當リテ甲者ノ貨物ヲ投棄シ以テ船舶及貨物ノ安全ヲ得タルトキハ其五十圓ノ損失ハ當ニ乙者

及船舶所有主ニ於テ其價格ニ應シテ分擔スヘキノミナラス甲者モ亦其貨物ノ價格ニ應シテ其一部分ヲ負擔セサルヘカラス
 茲ニ所謂貨物トハ英語ニ之ヲ「カーゴ」又ハ「グーヅ」ト云ヒ專ラ商業ノ目的ヲ以テ船舶ニ積載シタル總テノ貨物ヲ謂フモノニシテ其他ノモノハ之ニ包含セサルナリ「ロード」エレンボロイ氏曰ク貨物トハ賣買ニ付スル爲メニ積載シタル物品ヲ云フト又バーク氏曰ク貿易ノ目的ヲ以テ船舶ニ積載シタル物品ハ總テ共同海損ヲ負擔スルノ義務アリト又メツケ氏曰ク船賃ヲ仕拂ハサル物品ハ共同海損ヲ負擔スルヲ要セスト是ヲ以テ船客ノ身体ニ帶フル粧飾品即チ金製ノ指環又ハ寶石製ノ腕環ノ如キモノハ貨物ト云フコトヲ得ス從テ共同海損ヲ負擔スルノ義務ナシ又船客ノ手荷物モ之ヲ負擔スルヲ要セサルコトハ古來一般ノ慣例ナリトス然レトモ船客ノ手荷物ハ何故ニ之ヲ負擔スルヲ要セサルヤ毫モ其理由ヲ發見スルヲ得サルナリ
 往昔ニ於テハ政府ニ屬スル貨物ハ共同海損ヲ負擔スルノ義務ナシトセリ然レトモ斯ノ如キ規定ハ畢竟非常ニ政府ヲ尊重シタル往時ノ慣習ニ出テタルニ過キス

第二十二回

シテ實ニ理由ナキモノナリ彼ノ米國ノ判事ストリー氏ノ如キハ縱令政府ニ屬スル貨物ニテモ共同海損ヲ負擔スルノ責任ヲ免ルヘキモノニアラスト判決セリ

今回ハ共同海損ヲ負擔スヘキ割合ニ付テ講述スヘシ
 損失共擔ノ割合如何ヲ知ラント欲セハ宜シク共同海損ノ法理ヲ考覈スルヲ以テ捷徑トスヘシ

凡ソ共同海損ハ共同冒險物ヲシテ各其價格ニ應シテ之ヲ分擔セシムヘキモノトス即チ共同冒險人タル船主貨物主又ハ船賃ヲ得ル所ノ人ヲシテ其船舶貨物ノ價格又ハ船賃ノ額ニ準據シテ其損失ヲ負擔セシムヘキモノナリ

第一 費用ノ場合ニ關スル方法

共同冒險人一般ノ利益ニ關スル費用ハ船主又ハ船長ニ於テ自己ノ金圓ヲ以テ之ヲ支辨スルモ又ハ他ヨリ借入レタル金圓ニテ之ヲ支辨スルモ既ニ之ヲ支辨シタル以上ハ直ニ他ノ共同冒險者ニ對シテ其辨償ヲ請求スルコトヲ得ルモノニシテ共同冒險者ハ船舶カ仕向港ニ到着シタルヤ否ニ拘ラス之ヲ辨償スルノ義務アル

モノトス何トナレハ若シ此ノ如クセサルトキハ船舶並ニ貨物ハ一旦費用ノ爲メニ危難ヲ免ル、ト雖トモ其仕向港ニ到着スル前ニ全損ヲ招ク場合ニ於テハ船主又ハ船長ハ他ノ冒險者ト共ニ其所有物ヲ全損スルノミナラス加フルニ其支辨シタル費用ヲモ損スルノ結果ヲ生スルヲ以テナリ故ニ一般ノ利益ノ爲メニ支辨シタル費用ハ船舶並ニ貨物ノ仕向港ニ安着シタルヤ否即其運命ノ如何ニ拘ハラズ共同冒險者全員ニテ之ヲ負擔スヘキモノトス

第二 犠牲ノ場合ニ關スル方法

共同冒險物一般ノ利益ノ爲メニ犠牲トナリタル財産ハ猶ホ犠牲トナラサル財産ノ如ク其損失ノ一部ヲ負擔スヘキモノトス例ヘハ犠牲トナリタル物品ハ百圓ノ價格アルモノニシテ而シテ九百圓ノ價格ヲ有スル貨物ヲ救護スル爲メニ犠牲トナリタルモノトセハ此犠牲ノ物品即チ百圓ノ損失ハ現ニ救護セラレタル貨物并ニ犠牲トナリタル貨物トニテ各其價格ニ應シ之ヲ辨償スヘキモノナリ即チ其救護セラレタル物品ハ全財産ノ十分ノ九ニ當ルヲ以テ損失即チ百圓ノ十分ノ九(九十圓)ヲ負擔シ又犠牲トナリタルモノハ全財産ノ十分ノ一ニ當ルヲ以テ損失即チ

單獨海損

第一節 單獨海損

百圓ノ十分ノ一(十圓)ヲ負擔スヘキモノトス
共同海損ノ金額ヲ定ムルニ當リテハ何レノ國ノ法律又ハ何レノ場所ノ相場ニ從ハサルヘカラサルヤト云フニ其之ヲ計算スル場所ニ於ケル法律及相場ニ從フヘキモノトス而シテ共同海損ノ計算ヲナスヘキ場所ハ通常航海ヲ終了シタル港即チ仕向港ナリトス例ヘハ横濱ヨリ長崎ニ向テ航海スル途中危險ニ遭遇シ損失ヲ蒙リタルトキハ仕向港ナル長崎ノ市場ニ於ケル相場ヲ標準トシテ其貨物ノ價格ヲ定ムヘシ然レトモ暴風或ハ激浪ノ爲メ出帆後暫時ニシテ又其解纜港ニ歸航セサルヘカラサル場合アリ此場合ニ於テハ其解纜港ノ相場ニ從テ損失ノ價格ヲ定メサルヘカラス之ヲ要スルニ共同海損ノ計算ヲナスヘキ場所ノ相場ニ從テ之カ金額ヲ定ムルモノトス

凡ソ保險人ノ擔保スル所ノ危險ニ由リ直接ニ被保物件ニ生シタル損失ヲ稱シテ單獨海損ト云フ而シテ保險人ノ擔保スル所ノ危險ヨリ生スル損失ヲ豫防シ若シハ減少スルノ目的ヲ以テ支出シタル費用ノ如キハ保險人ニ於テ之ヲ負擔スヘキ

旨ノ契約ヲ締結セバ素ヨリ之ヲ補償セサルヘカヲサレトモ法律上之ヲ單獨海損トハ見做サ、ルナリ然レトモ佛國法律ニ依レハ斯ノ如キ費用モ亦單獨海損ノ内ニ包含セシムルカ如シ以下單獨海損ノ金額ヲ計算スルニ付キ注意スヘキ原理并ニ規則ヲ講述セム

第一 貨物上ニ生スル損失ノ計算

保險人カ單獨海損ヲ補償センカ爲ニ支辨スヘキ金額ヲ計算スル方法ハ左ノ如シ被保人カ保險料ヲ仕拂フ所ノ物ノ利益ハ保險人ノ負擔スヘキ金額ヲ定ムルニ付唯一ノ標準ナリトス保險料ヲ受取ラサル利益ノ損失ニ付テハ保險人ニ於テ何等ノ義務ヲモ負擔セサルモノナリ又不記價保險證書ノ場合ニ在テハ他ノ特約アルニアラスンハ其貨物ノ原價及之ヲ船積スル迄ノ萬般ノ費用即チ保險料及保險契約締結ニ關スル費用等ヲ以テ保險人ノ責任ヲ定ムル標準トシ定價保險證書ノ場合ニ於テハ證書面ニ明記セラル、所ノ價格ヲ以テ標準トス故ニ單獨海損ノ場合ニ於テ保險人ノ負擔スヘキ金額ハ仕向港ニ於ケル貨物ノ相場ニ依テ之ヲ定ムヘキモノニ非サルコト明カナルヘシ蓋シ仕向港ニ於ケル貨物ノ相場ハ(第一)原價(第

二)船賃、關稅其他荷揚等ノ費用(第三)利得或ハ損失ヲ包含スルモノニシテ保險人ノ責任ヲ定ムルニ付テハ單ニ貨物ノ原價(原價中ニハ船積スルマテノ費用即チ保險料並ニ保險ニ付スルノ費用ヲ含ム)ヲ標準トスルニ止マリ第二項及第三項ノ費用ノ如キハ何等ノ關係ヲモ有スルモノニアラス之ヲ要スルニ保險人カ損失ヲ補償スル爲メニ支辨セサルヘカヲササル金額ト被保人カ其損害ニ由テ喪失シタル所ノ金額トハ各特別ノモノナレハ決シテ之ヲ同一視スルコトヲ得サルモノトス

第二 船舶上ニ生スル損失ノ計算

凡ソ船舶上ニ生スル單獨海損ヲ計算スルニ付テハ記價保險證書及不記價保險證書ノ區別ニ依リ其方法ヲ異ニセリ即記價保險證書ニ記載セラル、所ノ金額ハ詐欺ノ證據アラサル以上ハ對手間ニ於テ之ヲ動かスコトヲ得サルモノナルヲ以テ其金額ニ準據シテ保險人ノ負擔スヘキ金額ヲ算定シ不記價保險證書ノ場合ニ於テハ其船舶カ危險ノ途ニ就ク當時ニ在テ有シタル所ノ價格即チ船價、食料、其他ノ附屬品、水夫ニ前貸セル金圓、保險料及保險契約締結ニ關スル費用等ヲ標準トシテ保險人ノ負擔スヘキ金額ヲ算定スルモノトス故ニ船舶上ノ特擔分損ヲ計算スル

規則ハ極メテ簡短容易ナリト謂ツヘシ
 例ヘハ其被保物件ニシテ計算上百圓ノ價格ヲ有スルモノト定マリタリトセンニ
 若シ十圓ノ損失生スルコトアルトキハ即其十圓ノ金額ヲ補償スヘキモノナリ又
 記價保險證書ノ場合ニ於テ證書ニ明記スル所ノ價格ハ百圓ナルトキハ例令ヒ實
 際百五十圓ノ價格ヲ有スルモノニシテ十圓ノ損失ヲ生シタルトキハ保險人ハ其
 損失ノ金額ヲ辨償スルニ及ハス唯左ノ比例ニ依テ割出サレタル金額ヲ辨償スル
 ナリテ足レリトス

$$\$150 : \$10 :: \$100 : x = \$6\frac{2}{3}$$

之ニ反シテ證書面ニ明記セラル、所ノ金額實際算定セラレタル所ノ金額ト相符
 合シテ共ニ百圓ナル場合ニ於テ十圓ノ損失生スルコトアルトキハ保險人ハ其金
 額即十圓ノ金額ヲ支辨セサルヘカラス然レトモ其損失高ノ果シテ幾何ナルカヲ
 定ムルニ方リテハ實ニ困難ヲ感セサルヲ得サルナリ
 以上講述シタル計算法ハ船舶ニ生シタル損害ノ修覆セラレサル場合ニ適用スル
 モノニシテ若シ之ヲ修覆シタルトキハ該費用ノ内ヨリ其三分ノ一ヲ控除シ殘額

三分ノ二ヲ以テ保險人ノ負擔スヘキ金額ヲ定ムル所ノ標準トス蓋シ船舶ヲ修覆
 スルトキハ古キヲ多少新シク爲スモノナレハ其損害ヲ受ケタル當時ヨリハ其價
 額ヲ増進スルコト明カナルヲ以テ船主ハ其費用ノ全額ヲ請求スヘキ理由ナシ是
 修覆費ノ三分ノ一ヲ控除スル所以ナリトス
 然レトモ此規則ハ新船ヲ修覆シタル場合ニ於テハ之ヲ適用スルコトヲ得ス然ラ
 ハ如何ナル船舶ヲ以テ新船ト見做スヘキカヲ定ムルハ必要起ルヘシ英國法律ノ
 普通ノ規則ニ依レハ船舶カ最初ノ航海ニ於テアルトキハ之ヲ以テ新船ト見做ス
 ナリ又如何ナル航海ヲ以テ第一ノ航海ト見做スヘキヤノ疑問ニ付テハ現今ニ至
 ルマテ未ダ一定セル規則ナシ而シテ又右ノ規則即チ修覆費用ノ三分一ヲ控除ス
 ルノ規定ハ修覆後其船舶カ所有主ノ手裡ニ歸セサル場合ニ適用スヘキモノニア
 ラス又船舶ノ附属品或ハ裝飾物ヲ修覆セル場合ニ於ケルモ之ヲ適用スルコトヲ
 得サルナリ例ヘハ錨ヲ修覆シタル場合ノ如キ保險人ハ其費用ノ全額ヲ補償セサ
 ルヘカラス又鎖ヲ修覆セル場合ニ於テモ其費用中ヨリ六分ノ一ヲ扣除シ其殘額
 ナリテ保險人ノ負擔スヘキ金額ヲ定ムルノ標準トス

第三 船賃并ニ利得上ニ生スル單獨海損ノ計算
 船賃并ニ利得上ニ生シタル分損ヲ計算スルノ規則モ亦極メテ簡短ナルモノナリ
 即保險人ノ擔保シタル金額ニシテ實際ノ利益ヨリ少額ナル場合ニ於テハ船舶ニ
 關スル計算法ト同シク其損失及實際ノ利益ノ比例ニ依リ其擔保シタル金額ニ相
 當セル高チ辨償スヘク又其擔保ノ金額ト實際ノ利益トノ二者相符合シタル場合
 ニ於テハ其損失ノ金額ヲ辨償スヘキモノトス

全損

第五章 全損

保險法ニ所謂全損ナルモノハ一ノ損失ニシテ之カ爲メニ被保人ハ保險人ヨリ保
 險金ノ全額ヲ請求シ得ルモノナク云フ而シテ此全損ニ二種アリ第一真全損第二准
 全損是ナリ

真全損

第一節 真全損

真全損ノ場合ニ於テハ被保人ハ被保物委棄ノ通知ヲ爲サスシテ保險金ノ全額ヲ
 請求スルノ權利アルモノトス然ラバ如何ナル損害ハ真全損ナルカト云フニ蓋シ
 「ロイド」アピンギヤ―氏ノ答案ヨリハ其當チ得タルモノナシ其答案ニ曰ク航海ノ

途ニ於テ被保物全ク破壊若クハ滅盡シ又ハ被保人若クハ保險人ノ能力ニテハ到
 底其着港ヲ計ルコトヲ得サルノ地位ニアルトキハ保險人ハ保險金ノ全額ヲ辨償
 スヘキモノナリト由是觀之真全損ナルヤ否ヤヲ斷定スルノ標準ハ被保物ノ着港
 ナ計ルコトヲ得ルヤ否ヤノ一點ニ止マルモノナリ故ニ縱令非常ノ修費ヲ要ス
 ルモ其着港ヲ計ルコトヲ得ルトキハ純然タル全損トナサス之ニ反シ被保物ノ占
 有或ハ管理ヲ爲スノ權ヲ失ヒ到底其占有ヲ恢復スルコトヲ得サルカ又ハ到底此
 後ニ航海ノ業ヲ爲スコト能ハサルトキハ則チ純然タル真全損ト爲ル可シ例ヘハ
 船舶カ保險人ノ擔保シタル危險ニ依テ滅盡ニ歸シタルトキハ縱令其船舶ヲ組織
 セル木材ノ現存スルアルモ尙ホ真全損ト見做スヘキモノナリ又船舶難破シテ未
 ク悉ク破壊セサルモ之ヲ修覆スルコト能ハサルカ爲メ到底船舶トシテ之ヲ航海
 ノ用ニ供スルコトヲ得サルカ又ハ船舶乗上チナシテ再ヒ船舶ノ用チナス望ナキ
 爲メ船長カ其船舶ヲ賣却シタルトキハ被保人ハ真全損トシテ保險金ノ全額ヲ請
 求スルコトヲ得ルモノトス
 又貨物ニ付テ一例ヲ舉ケンニ腐敗質ヲ帶フル貨物カ海難ノ爲メニ全ク腐爛シ之

ナ海中ニ投棄スルノ已ムヲ得サルニ至ルトキハ是即チ貨物ノ純然タル眞全損ノ
 場合ナリトス然レトモ貨物ノ十分ノ八ハ腐敗シ去リテ其十分ノ二ハ尙ホ現存ス
 ルカ又ハ貨物ノ多分腐敗シテ其價格ハ船賃ノ四分ノ一ニ足ラサル場合ノ如キハ
 決シテ純然タル眞全損ト云フコトヲ得サルナリ
 船賃ノ眞全損ハ船賃ヲ除得スヘキ事柄ノ全然消滅シ去リタル場合ニ生スルモノ
 トス即チ船舶全ク破壊シ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタル場合ノ如キ是
 ナリ而シテ船賃ニ關スル損失ノ果シテ眞全損ナルヤ否ノ點ハ其船賃ノ契約ノ性
 質ヲ查究シテ之ヲ定メサル可カラズ

准全損

第二節 准全損

准全損即チ法定上ノ全損ノ場合ニ於テハ被保人ハ被保物委棄ノ通知ヲ被保人ニ
 爲シタルトキハ保險金ノ全額ヲ請求スルヲ得ルモノトス
 准全損トハ如何ナル場合ナルカト云フニ之ヲ一般ニ云ヘハ被保物危險ノ爲メニ
 全ク毀損又ハ滅亡ヲ來スヘキ有様ニ置カレテ而シテ其毀損又ハ滅亡ハ必然免ル
 ヲコト能ハスト云フヲ得サルモ極メテ危殆ナル有様ニアルカ或ハ其回復ニ付テ

ハ全ク望ナキニアラサレトモ其望タル又極メテ疑ハシキ場合ヲ云フ
 例之ハ被保船舶カ或港ニ進入スルニ當リ大破損ヲ受ケ到底航海ヲ繼續スルコト
 ナ得サルニ至リ之ヲ修覆セントスルモ其港ニ船工ナク又ハ他港ニ之ヲ送致スル
 コトヲ得ズト斷言スル能ハサルモ十中八九ハ送致スルコトヲ得サルヘキ位置ニ
 アルトキハ即チ准全損ヲ成スモノトス

准全損ト眞全損トノ間ニハ如何ナル區別アリヤト云フニ二者共ニ保險證書ノ所
 謂全損ナル文字ノ内ニ包含スヘキモノナルヲ以テ被保人ハ何レノ場合ニ於テモ
 其損失ヲ補償スルノ義務アリトス唯眞全損ノ場合ニ於テハ被保人ハ何等ノ手續
 ナ盡スコトヲ要セサレトモ准全損ノ場合ニ於テハ豫メ委棄ノ通知ヲ爲サ、ルヘ
 カラス而シテ(一)委棄ノ通知ハ損失ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ相當ノ時間内ニナサ
 、ルヘカラス抑モ委棄ハ被保利益ヲ被保人ニ移轉スルノ所爲ナレハ被保人ハ損
 失ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ相當ノ時間内ニ委棄ノ通知ヲ爲シ被保人ヲシテ委棄
 セラレタル財産ノ所分ニ着手スルコトヲ得セシメサル可ラサルモノトス然ラハ
 相當ノ時間トハ如何ナル時限ヲ指スヤノ疑問ヲ生スヘキモ此點ニ付テハ法律上

一定ノ規則ナシ故ニ災害ノ通知ノ確實ナルヤ否ヤト危険其物ノ性質ノ如何トニ依リテ之カ時限ヲ定メサル可ラス若シ夫レ災害ノ報告確實ニシテ而シテ危険ノ性質ハ捕獲又ハ差押ノ如キモノニシテ全損ヲ來スヘキモノト明カニ推測スルコトヲ得ルモノナルトキハ委棄ノ通知ハ此報告ヲ受クルト同時ニ之ヲ爲サ、ル可ラス若之ニ反シテ其報告不確實ニシテ且危険ハ必シモ委棄ノ權利ヲ生セシメサルカ如キ性質ノモノナルトキハ被保人ハ損失ノ性質實果ニ付テ確實ノ報告ヲ俟テ之ヲ得タル後ニ委棄ノ通知ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ今日市場ノ有様ハ如何船舶ノ價格ハ如何等ヲ觀察スルカ爲メニ委棄ノ通知ヲ猶豫スルコトヲ得サルモノトス(二)委棄ノ通知ヲ爲スヘキ情況ハ出訴ノ當時マテ繼續スルヲ要ス故ニ委棄スヘキ情況ニシテ其通知ヲ爲ストキ存在スルモ訴訟ヲ提起スル前ニ變更スルトキハ委棄ノ通知ハ其効力ヲ失フモノトス此規則ハベーンブリツヤ對ネルンソノ事件ノ判決ニ依リテ定マリ其後數多ノ訴件ニ適用セラレ今日ニ至テハ確定動カス可ラサルモノトナレリ「ロイド」マンスヒールド氏ハ此規則ヲ述ヘ且其理由ヲ説明シテ曰ク被保人ノ請求ハ固ト補償ノ性質ヲ有スヘク而シテ其性質ハ起訴ノ時マ

生命保險

總論

テ繼續セサル可ラス故ニ起訴ノ當時已ニ補償ノ性質ヲ失フタルトキハ賠償ヲ請求スルヲ得サルヤ明カナリト此點ニ付テハ歐洲大陸並米國ノ法律ハ稍々其規定ヲ異ニセリ今其規定ヲ見ルニ委棄ヲ爲スヘキ所ノ情況ハ之カ通知ヲ爲シタル時ニ於テ存在スレハ充分ニシテ敢テ出訴ノ當時マテ之カ繼續ヲ必要ト爲サス被保人カ委棄ノ通知ヲ爲シ保險人ニ於テ之ヲ承諾シタルトキハ事實上ノ錯誤ノ場合ニアラサレハ之ヲ取消スコトヲ得サルモノニシテ對手間ニハ委棄ノ効果ヲ生スルモノトス但双方ノ合意ニ依リ之ヲ取消スハ固ヨリ自由ナリトス

第二十四回

第二卷 生命保險 (Life Insurance)

第一章 總論

生命保險ハ保險契約ノ一種ニシテ保險人ハ保險料ヲ一時若クハ定期ニ受クルノ約報 (Consideration) ニテ或人カ死亡シタルトキ若干ノ金員又ハ若干ノ年金ヲ支拂フ可キコトヲ約束スルモノヲ謂フ生命保險ニ二種アリ一ハ終身保險ニシテ一ハ定期保險ナリ

抑々生命保險法ハ他人ニ依頼シテ棲息スルモノヲ救助スルノ方法ニシテ彼ノ家族ノ單ニ戶主一人ノ勞働ニ委頼シテ衣食シ其戶主死亡セハ直ニ饑餓凍餒ニ迫ル者ヲ救助スルニハ尤モ適當ノ方法ナリシカ故ニ十八世紀ノ始ヨリ漸次彼ノ深ク過去ヲ顧ミ將來ヲ慮ル沈着家ノ注意ヲ惹起シテ遂ニ今日ノ如ク一般ニ盛行スルニ至レリ最初此保險法ノ實行ハ英國ニ限ラレ次ニ米國ニ輸出シ遂ニ大陸地方ニ行ハル、ニ至レルモノナリ顧ミテ何故ニ最初此保險法カ歐洲大陸ニ行ハレサリシヤチ考フルニ蓋大陸地方ハ羅馬法ノ原則行ハレタルカ故ナリ羅馬法ノ原則ニヨレハ自由民ノ生命ハ價直ノ上ニ位シ到底金錢ヲ以テ見積リ得可ラサルモノトセリ (Iberum corpus astimationem non recipit) 歐洲大陸大部ノ法律ハ此原則ニ依テ人ノ生命ヲ保險スルコトハ極メテ道理ニ背反シタルモノナリト認ムルニ至リ現ニ其實例ヲ摘擧スレハ佛國ニテハルイ第十四世カ勅令ヲ發シテ生命保險ヲ禁止シタルカ如キ是ナリ併シ今日ノ佛國法典ヲ見ルトキハ生命保險ハ之ヲ禁シタルヤ將タ又之ヲ許シタルモノナルヤ六百有餘條ノ商法中更ニ其明文ヲ見ルナシ彼國法曹ボレー、パチー氏ハ佛國法律ハ生命保險ヲ禁スルモノナルコトハ商法第三百三

十四條ニ依テ見ルヲ得可シ即同條ニ曰左ニ列記スル物件ハ之ヲ保險ニ附スルコトヲ得可シ云々而シテ生命ヲ保險ニ附シ得可キモノ、中ニ入レス故ニ之ヲ反對ノ點ヨリ看察スルトキハ同條ニ記載ナキモノハ之ヲ禁シタルモノニ外ナラサル可シ又法理上ヨリ之ヲ論究スルモ生命保險ナルモノハ最モ有害ナル賭博契約ニ外ナラサルヲ以テ堅ク禁止ス可キモノナリト論シタリ而シテ彼國法典ノ解釋者ハ多クボレー、パチー氏ト説テ同フセリ然レトモバルデサス氏ハ之ニ反對ノ説ヲナシテ曰生命保險ハ社會必需ノモノニシテ他ノ保險契約ト均シク正當ノモノナリト今日余輩ノ看察スル所ニヨレハ此説ハ佛國政府ノ意見ヲ代表スルモノナリト云フモ不可ナキコトヲ發見セリ何トナレハ千八百二十年ノ勅令ヲ以テ佛國政府ハ生命保險ノ目的ヲ有スル一ノ會社ノ設立ヲ許可シタルヲ以テナリ然レトモ生命保險ハ佛國伊太利等ニハ盛行セスシテ却テ獨逸ニ於テ盛ニ行ハル、ヲ見ル英國ニ於テ生命保險會社ノ起リタルハ十八世紀ノ始メニアリテ實ニ「アミケーブルンサイテー」ト稱スル會社ヲ以テ嚆矢トス爾來漸ク其數ヲ増シ千八百二十七年ニ至テハ四十二ノ生命保險會社アリテ互ニ熱心ニシテ且ツ危險ナル競争ヲナセ

シカ是等ノ會社ハ遂ニ孰レモ盛大ナ極メタリ而シテ又最初ハ生命ヲ保險スルハ
單ニ壯健ナル人ニ止マリシモ今日ニ至テハ現ニ疾病ニ罹リアルモノニアラサレ
ハ假令壯健ナラサル人ト雖モ之ヲ保險スルニ至レリ

被保利益

第二章 被保利益

英國ジョージ三世第十四年第四十八章ノ條例ヲ以テ被保人カ利益ヲ有セサル
人ノ生命ヲ保險ニ附スルコトヲ禁シ又被保人カ其生命上ニ有スル利益ヨリ多ク
ノ保險金ヲ請求スルコトヲ禁シ且保險證書ノ利益ヲ有スル人名ヲ保險證書ニ記
載ス可キコトヲ必要トスル旨ヲ規定セリ

英國ノ普通法ニヨレハ假令被保物上ニ利益ヲ有セサルモ保險契約ヲ締結スルヲ
禁止スルノ規則ナシ是ヲ以テ普通法ニヨレハ何等ノ利害ヲモ有セサル人ノ生命
ヲ目的トシテ保險契約ヲ締結シ得タリシナリ去レトモ前述ノ條例ニ依テ之ヲ禁
シタルヲ以テ被保人タルモノハ必ス自ラ利害ノ關係ヲ有セサル所ノ人ノ生命ニ
付テ保險契約ヲ取結フコトヲ得サルコトナレリ

然ラハ則チ如何ナルモノハ保險ニ附スチ得可キヤト云フニ先ツ第一ニ凡テ人ハ

五

己レノ生命上ニ利害ヲ有ス可キモノナルカ故ニ己レノ生命ヲ他人ノ爲メニ保險
ニ附スルヲ得例ヘハ己レノ妻子又ハ債主ノ爲メニ己レノ生命ヲ保險ニ附スルハ
實際其例極メテ多シ然レトモ此場合ニ於テハ條例ニ依テ保險證書中ニ其利益ヲ
受ク可キ人ノ姓名ヲ記載スルヲ必要トス即チ夫カ妻又ハ子ノ爲メニ己レノ生命
ヲ保險ニ附スルトキハ該保險證書ニ受益人タル妻又ハ子ノ姓名ヲ記入スルヲ要
セリ

又次ニハ他人ノ生命モ其生命上ニ金錢上ノ利益ヲ有スルモノハ之ヲ保險ニ附ス
ルヲ得可シ古昔ハ金錢上ノ利益ナル意味ヲ狹隘ニ解釋シ父タルモノハ常ニ其子
ノ生命上ニ金錢上ノ利益ヲ有セサルモノトシ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得サルモ
ノトセリ然レトモ今日ハ大ニ此金錢上ノ利益ナル意味ヲ擴メテ親子兄弟姉妹其
他ノ親族間ニアリテ互ニ他ノ生命ヲ保險ニ附スルヲ得ルノ場合アルニ至レリ例
ヘハ父ハ子ノ丁年ニ滿タサル者ノ勞働ニ依テ得タル利益ヲ受クルノ權利アリ故
ニ其子ノ生命ヲ保險ニ付スルヲ得可ク未丁年者ハ其父ヨリ養育ヲ受クルノ權利
アリ故ニ其父ノ生命ヲ保險ニ付スルヲ得ヘク又丁年者ト雖モ疾病其他ノ事故ニ

依テ父若ハ其他ノ親屬ヨリ養育ヲ受クルノ權利アルモノハ其父若ハ其親屬ノ生命ヲ保險ニ付スルヲ得可シ又兄弟姉妹間ニテモ自己ヲ保護養育スル者ノ生命ヲ保險ニ付スルヲ得ヘシ

又妻ハ夫ノ生命ニ對シテ保險ニ付ス可キ利益ヲ有スルモノニシテ又一且妻タルモノハ己ニ離婚スルノ後ト雖モ其子女ヲ養育スルトキハ先夫ノ生命ヲ保險ニ付スルコトヲ得可シ何トナレハ其子女ノ養育料ハ先夫ニ於テ支給スヘキモノナレハナリ

又或男女間ニ婚姻契約ヲ締結シタルトキハ其未ダ結婚セサル前ト雖モ女ハ男ノ生命ヲ保險ニ付スルヲ得可シ事實上ノ妻モ亦タ事實上ノ夫ノ生命ヲ保險ニ付スルヲ得ヘシ

然レトモ人ハ單ニ親子夫妻ノ關係ノミヨリシテハ其子女又ハ妻ノ生命ヲ保險ニ付スルヲ得ス若シ之ヲナサント欲セハ必ス子女若クハ妻ノ生命上ニ金錢上ノ利害ノ關係ヲ有セサレハ不可ナリ

債主ハ貸金ノ高マテハ負債主ノ生命ヲ保險ニ付スルヲ得可シ何トナレハ負債主

六

七

生存セハ負債ノ償却ヲ受クルノ望アリテ之ヲ再言セハ負債主ノ生命上ニ金錢上ノ利害存スレハナリ此場合ニ於テ負債主未丁年者ニシテ其契約ハ取消シ得可キトキト雖モ尙ホ債主ハ負債主ノ生命上ニ有効ナル保險契約ヲ締結スルヲ得可ク又其負債ハ已ニ出訴期限ヲ過クルモ尙ホ保險ニ付スルヲ得可シ何トナレハ假令出訴期限ハ經過スルト雖モ負債ハ依然トシテ存スルモノナレハナリ又債主ハ負債ニ對シ相當ナル保證物件ヲ取リタルトキモ尙ホ負債主ノ生命ヲ保險ニ付スルヲ得可シ

雇人ハ雇主ノ生命ヲ保險ニ付シ雇主ハ雇人ノ生命ヲ保險ニ付スルヲ得可シ英國ニテハ番頭カ主人ノ生命ヲ保險ニ付スルハ往々見ル所ナリ

又受託者(Trustee)ハ法律上ノ名義ヲ有スルノミニシテ實際上ノ利益ヲ有スルモノニ非スト雖モ尙ホ信託者ノ生命ヲ保險ニ付スルコトヲ得

以上述ヘタル所ヲ約言スレハ何人ト雖モ他人ノ生存上ニ利益ヲ有スルトキハ之ヲ保險ニ付スルヲ得可シトノ原則ニ歸着ス可キナリ

凡ソ保險法ニ於テハ被保人ハ契約ヲ締結スルトキト損失ノ起リタルトキトニ於

テ保險ニ附ス可キ利益ヲ有セサル可ラストハ一般ノ通則ナリ此規則ハ最初生命保險ニモ尙ホ適用セラレ彼ノ債主カ貸金ノ完済ヲ受ケタルトキハ負債主ノ生命ニ係ル保險契約ハ自ラ消滅スルモノトセリ其理由ハ生命保險契約ヲ以テ他ノ保險契約ト同シク損失補償ノ契約ニ外ナラスト認ムルニアリ去レトモ此規則ハ輒近ノ判決例ノ取消ス所トナリ今日ニ在テハ保險ニ附シタル所ノ人死亡ノ時毫モ保險上ノ利益ヲ有セサルモ尙ホ保險金額ヲ請求シ得可キコトハナレリ

曾テ「エキスチエツカー」院ニ於テ此問題カ訴訟ノ争點トナリ原告代官人ハ「ジョー」三世第十四年ノ條例第三項ニ依リ之ヲ論シテ曰ク右ノ第三項ニハ被保人カ生命上ニ有スル利益ノ高ヨリ多クノ金員ヲ被保人ヨリ請求スルヲ得ストアリ今此文章ノ意ヲ玩味スルニ契約ノ當時些少ノ利害ヲ口實トシテ莫大ナル賭博契約ヲナスヲ防キタルモノニシテ死亡ノ當時ニ至ルマテ利害ノ繼續セサル可カラサルヲ規定シタルモノニ非ス何トナレハ此第三項ニハ生命上ニ有スル(Benefit)云々トアレハ契約ヲ締結スルノ當時ニアリテ被保人カ他人ノ生命上ニ利益ヲ有セサル可ラサルコトヲ規定シタルハ明白ナリト雖モ死亡ノトキニ至テハ何等ノ規定ノ存

スルナキヲ以テ之ヲ有セサル可ラサルノ理ナシトノ趣旨ヲ論述セリ被告代官人ハ反之此條例ハ被保人カ現ニ損失ヲ受ケタル金高ヨリ超過スル部分ハ之ヲ請求シ得可ラスト規定シタルモノナレハ原告ハ保險金ヲ請求スルヲ得サルナリト答辨セリ裁判官ハ原告ノ説ヲ容レ被告ハ保險金ヲ拂フ可キモノナリトノ判決ヲ與ヘタリ今日ニ在テハ此判決例ハ動カス可ラサルノ確例トナリ被保人ノ利益ハ契約締結ノ當時ニ在テ存スレハ充分ナルモノナリトス

米國ニテモ同一ナル判決例アリ蓋シ生命保險ハ純然タル補償ノ契約ナルカ將タ單ニ不慮ノ出來事ノ起リタルトキニ若干ノ金員ヲ拂フ可キ契約ニ過キサルカト云フコトハ一大問題ニシテ古昔ノ判決例ハ前ノ意味ヲ採用シ今日ノ判決例ハ後ノ意味ヲ採用シタルモノ多シト然レトモ余輩ノ信スル所ニヨレハ米國上等裁判所ノ意見ハ最モ其當ヲ得タルモノトス其説ニ曰生命保險ハ他ノ保險ノ如シ單ニ補償ノ性質ヨリ成立スルモノニ非ス故ニ偶々僥倖ヲ得ルノ結果ヲ來スモ尙ホ有効ノモノトセサル可ラストモ契約ノ當時ニ於テ全ク補償ノ精神ヲ外ニシテ生命保險ノ契約ヲ締結スルモノアレハ是即チ保險法ノ精神ニ背クモノナルヲ

保險證書ノ條項

以テ全然無効トセサル可ラスト

第三章 保險證書ノ條項

生命保險證書ノ條項ハ古來ヨリノ變遷ヲ見ルニ嚴密ヨリ漸次寛大ニ赴キタルモノニシテ今日保險證書ニ通常列記スル所ノモノヲ見ルニ第一保險ニ附セラレタル所ノ人カ海陸軍人トナリタルトキ第二自殺シタルトキ第三決闘ヲナシタルトキ第四裁判ニ依テ死亡シタルトキ即チ死刑ニ處セラレタルトキハ保險人ハ其責任ヲ免ル可キノ條項ヲ記入スルモノトス然レトモ被保人カ重罪ヲ犯シテ裁判所ニ於テ死刑ノ執行ヲ受ケタルトキハ假令保險證書ニ明記ナキモ當然保險人ハ其責任ヲ免ル、モノトス是蓋シ公益上ヨリ出ツル所ノ規則ナリ又保險證書ニヨリテハ被保人ハ海上又ハ大湖ニテ死亡シ又ハ保險人ノ承諾ナクシテ國境外ニ赴キタルトキハ保險人ハ其責任ヲ免カル可キコトヲ記入スルモノアリ

抑モ生命保險ノ契約ハ保險ニ附セラル、所ノ人ノ生レタル場所年齢住所職業其他是マテ患タル所ノ疾病等ヲ明細ニ被保人ニ聞キ糺シ之ニ依テ保險契約ヲ締結スルモノナリ然レトモ是等ノ陳述ハ常ニ証書ニ記入セラル、モノニ非ス而

シテ其證書ニ記載ナキ以上ハ請合(Warranty)トナラサルモノナレハ其陳述ハ善意ニシテ且實際上眞正ナレハ之ヲ以テ充分ナリトス若シ又證書ニ記入シアルトキハ通例請合トナルヲ以テ文字通りニ眞正ナラサル可ラス併シ人ハ健康ナリトノ請合ヲナシタルトキハ其人ハ生命ニハ危キコトナキ奮創ノ爲メニ大ナル不便ヲ受ケ居ルモ決シテ其請合ヲ破リタルモノト認ムルヲ得ス例ヘハ中風症ニテ手カ不自由ナルモ又中酒症ヨリシテ癡癡ヲ患ヒタルモ健康ヲ破リタルモノトナサス蓋シ死亡ノ種子ハ各人体ノ組織上ニ常ニ存スルモノナレハ請合ノ契約ヲナストキニ當リテ生命ヲ短縮スル所ノ現實ノ原由存セサレハ可ナルモノナリ

生命ハ終身間保險ニ附スルヲ通例トスレトモ一定ノ期限ヲ定メテ保險ニ附スルコトモ往々見ル所ナリ斯レ期限ヲ一定シテ保險ニ附シタルトキハ保險ノ目的物トナリタル所ノ人ハ期限内ニ死ス可キ疾病又ハ創傷ヲ受クルモ其死亡シタルハ保險期限經過シタル後ニアルトキハ保險人ハ其責任ヲ免カル、モノトス

第三卷 火災保險 (Fire insurance)

第一章 總論

保險法

火災保險 總論

火災保險ニ於ケル保險人ハ保險料ノ報償ニテ被保人ノ家屋、建造物、造作、湊港ニ碇泊スル船舶又ハ貨物上ニ一定ノ期限内ニ於テ不慮ノ火災ヨリ生スル所ノ損失ヲ補償スルコトヲ約スルモノナリ

此火災保險ノ場合ニ於テハ保險料ハ通例前拂ニシテ又此契約ハ通例牙保ノ手ヲ經由セスシテ締結セラル、モノトス

保險料ノ割合ハ被保物件上ノ危険ノ程度ニ依テ異ナリ而シテ其危険ノ程度ハ被保物ノ物質使用方法又ハ其近隣ノ狀況ニ依テ其度ヲ異ニスルモノトス物質ニ付テ之ヲ云ヘハ煉瓦石造ノ家屋建造物ノ如キハ危険尤モ少ナキモノニシテ木造ノ家屋建造物ノ如キハ危険最モ多キモノナリトス

凡貨物ハ其保險料ノ割合ニ關シテ三種類ニ區別スルヲ得ヘシ第一危険ノ患ナキ貨物(Goods not hayardous)第二危険物(Goods hayardous)第三非常ノ危険物(Goods extra hayardous)是ナリ右三種類中第三種ノ物件ハ保險ニ付スヘキモノトス

被保利益

第二章 被保利益

凡ソ被保人ニシテ利害ヲ有セサルモノヲ保險ニ附スルコトヲ許ストキハ賭博契

約ヲ許スノ結果ヲ來スノミナラス放火ノ犯罪ヲ誘致ス可キ道理ナレハ極メテ危険ナリト云ハサル可ラス故ニ各國ノ火災保險法ハ利害ヲ有セサル物件ヲ保險ニ附スルコトヲ禁止セリ

[ロード]キング(Lord King)並ニ[ロード]ハードウヰック(Lord Hardwick)ノ二氏ハ曰火災保險ニ於テ被保人ハ被保物上ニ契約締結ノ當時並ニ損失ノ起リタル當時ニ於テ共ニ利害ノ關係ヲ有セサレハ普通法ニ於テセラ之ヲ無効トセリト債主ハ債主ノ建造物又ハ貨物上ニ差押權若シハ抵當ヲ有スルトキハ之ヲ保險ニ附スルコトヲ得又受托者又ハ代理人ニシテ他人ノ物品ヲ預リ手数料ヲ受ケテ賣却スルノ委託ヲ受クルモノハ其物品ヲ保險ニ付スルヲ得ヘシ又衡平法上ノ利益ヲ有スルモノモ其目的物ヲ保險ニ付スルヲ得ヘシ

フオーレスト對フハルトン火災保險會社ニ係ル事件ニ於テ裁判所ハ被保利益ノ意義ヲ擴メテ商業上ノ代人ハ荷主又ハ本人ノ貨物ヲ占有スルヲ以テ單ニ其受取ル可キ手数料ノ全額ヲ限り之ヲ保險ニ附スルヲ得可キノミナラス貨物ノ全額ヲ保險ニ附スルヲ得可キモノナリトノ判決ヲ與ヘタリ

米國ニテハ保險證書ニ貨物ノ性質ヲ明記スルヲ必要トセリ故ニ信託物件又ハ差押權ヲ有スル貨物ハ其旨ヲ明示シテ保險ニ附セサル可ラス若シ否サルトキハ該保險證書ハ其効力ヲ有セサルモノトス家賃上ニ利害ヲ有スルモノハ定期間其家賃ヲ保險ニ附スルコトヲ得然レトモ如斯キ保險ハ特別ニ之ヲ締結セサル可カラズ決シテ家屋ノミナ保險ニ附シタリトテ家賃ニ付テモ保險ニ附シタルモノトスルヲ得ス

保險證書
條項

第三章 保險證書ノ條項

火災保險ノ證書ハ定期ノ證書ナレハ必ス危險ノ始マル時期並ニ終ル時期ヲ記載セサル可ラス然リ而シテ保險證書ニハ又通例侵襲外敵兵力又ハ暴力ニ基ク所ノ火災ヨリ起リタル損害ハ保險人ニ於テ擔保セサル旨ヲ記載スルモノトス又時トシテハ此等ノ外兇徒嘯集又ハ内國ノ騷動等ノ文字ヲ加ヘテ例外トスルコトアリ其故ハ暴力ノ意味ハ外國ヨリノ侵襲若クハ内國ノ叛逆ヲ包括スルモ通例ノ一揆ノ如キハ其内ニアラサルヲ以テ尙ホ一揆騷動ノコトヲ加フルナリ
被保人ハ保險人ノ擔保スル所ノ危險ニ重要ナル關係アル事柄ヲ知悉スルトキハ

之ヲ陳示スルノ義務アリ古昔ニ在テハ海上保險ノ隱蔽ニ關スル規則ハ均シク火災保險ノ場合ニモ適用シ得ルモノトシタリ然レトモ近世ニ至テハ火災保險ハ海上保險ニ比較シテ大ニ其規則ヲ寛大ニ適用ス可キモノトスルニ至レリ蓋其理由ハ火災保險ハ海上保險若クハ生命保險ト少シク異ナリ保險人ハ單ニ被保人ノ陳述ノミニ依頼スルノ必要ナク實地ヲ檢シテ保險目的物ノ構造等ヲ知ルコトヲ得ルノミナラス今日ハ實際自ラ之ヲ臨檢スルヲ通例トスレハナリ又被保人カ被保物件上ニ通常ニシテ且必要ナル所爲ヲ行フモ之カ爲メ決シテ保險契約ヲ害スルモノニ非ス例ヘハ家屋ヲ保險ニ付シ之ニ必要ナル修覆ヲナスモ保險契約ニ何等ノ影響ヲモ及サ、ルモノトス去レトモ職工ノ大ナル過失ヨリ損害ヲ來シ或ハ變更ヲ加ヘ夫レカ爲メニ危險ノ程度ヲ増加シ而シテ如斯有様ニナシタルハ通例不
必要ナルモノナルトキハ保險人ハ其責任ヲ免カル可キモノトス
又火災保險證書ニハ通例保險人ノ承諾ヲ經スシテ讓渡ス可ラサル旨ヲ記載スルモノナリ若シ此文意ヲ記載セサルトキハ尙ホ恰モ他ノ債主權ノ如ク之ヲ他ニ讓渡スコトヲ得然レトモ其讓受人ハ被保物ノ利害ヲ讓受ケサルヘカラス然レトモ

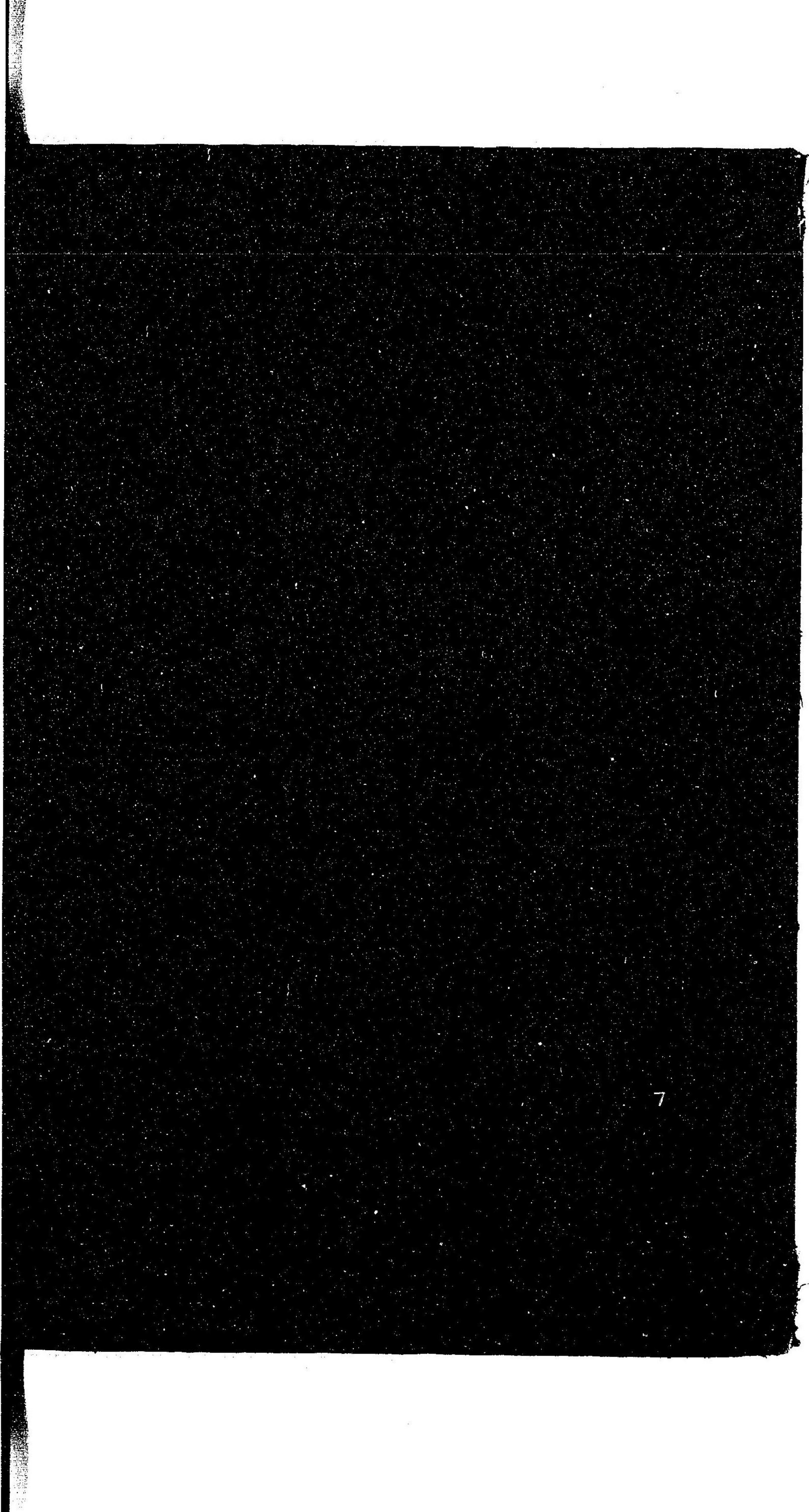
此制限ハ損失ノ生スル以前ノ讓渡又ハ相方間ノ合意ノ讓渡ニハ適用スルモ損失ノ生シタル以後ノ讓渡又ハ裁判執行上ノ讓渡ニハ之ヲ適用セス
此他ノ規則ハ概シテ海上保險ノ規則ヲ適用スヘキモノナレハ茲ニ之ヲ講セス

保險法大尾

14

544

85



14
544

035441-000-3

14-544口

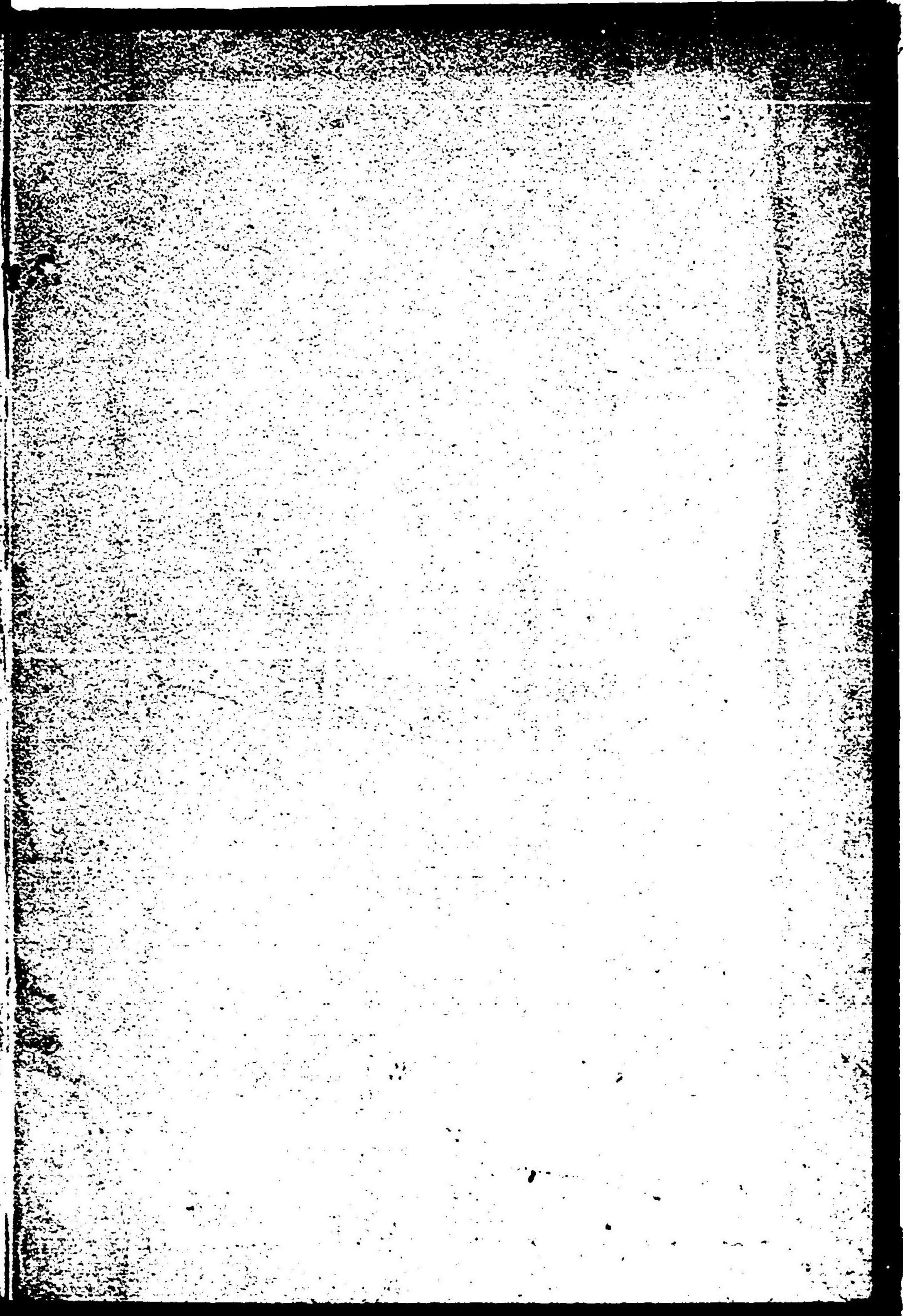
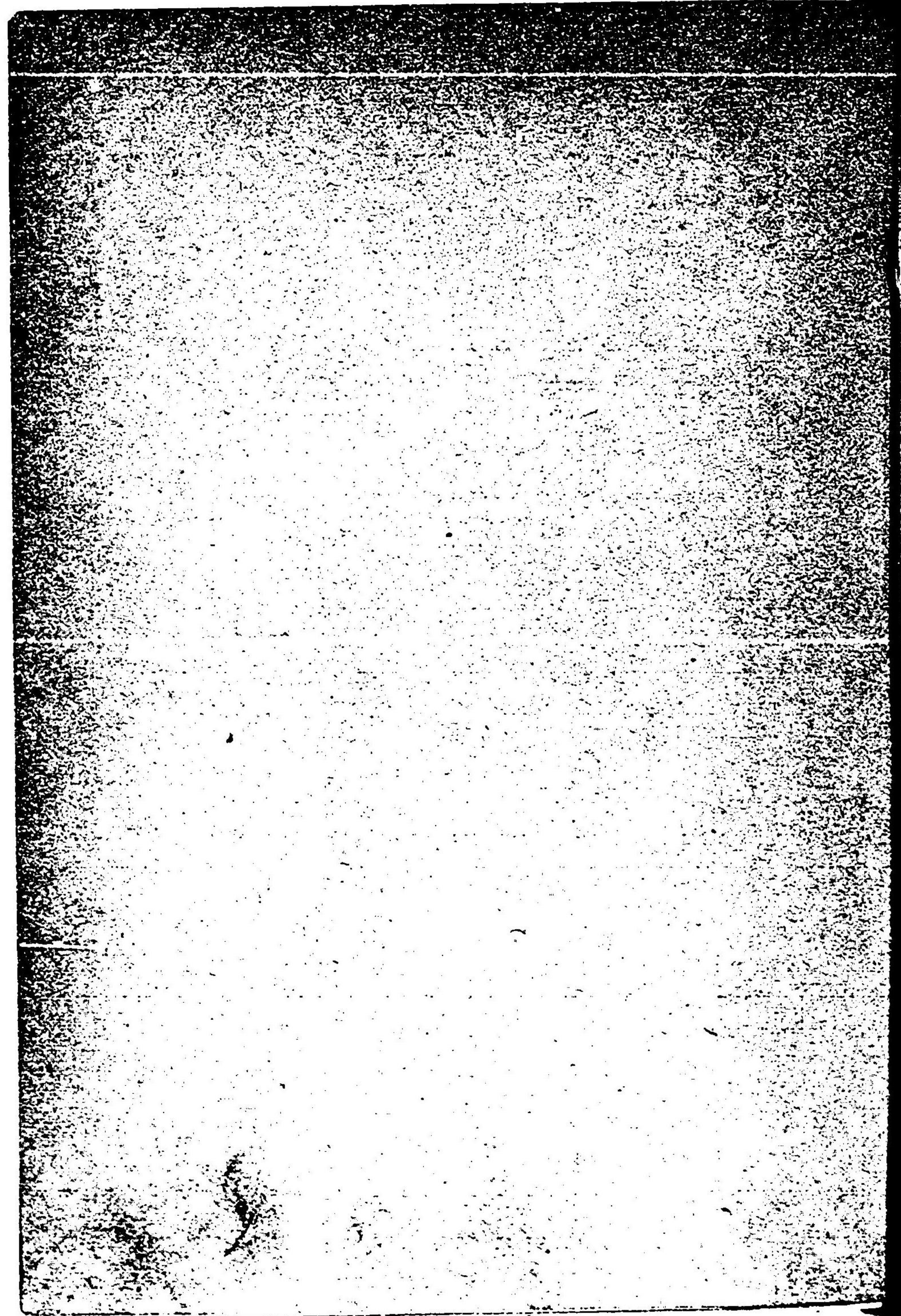
保險法

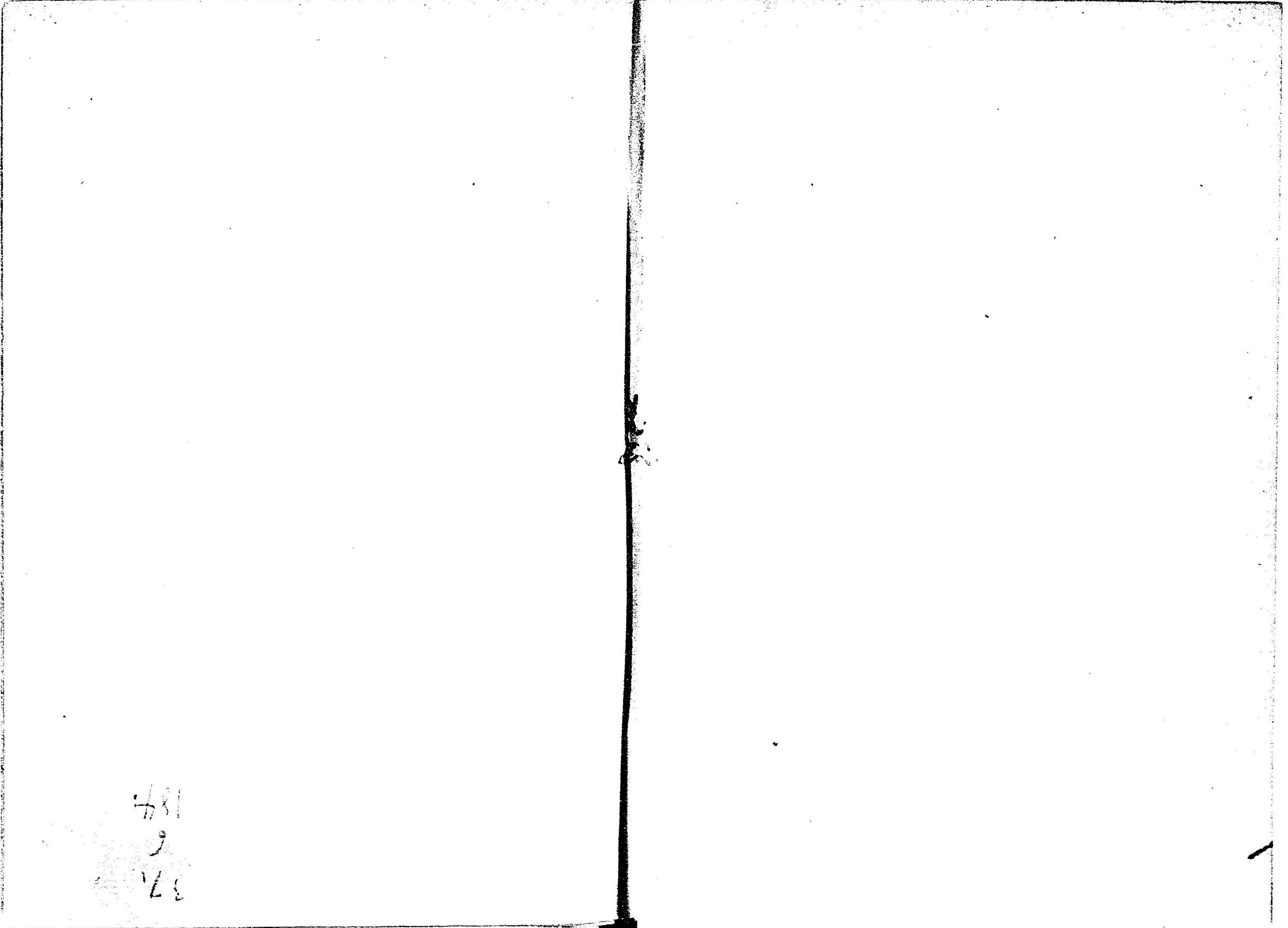
馬場 愿治/述

M23?

BBO-0641







184
6
371

1